

NAFSA2014 参加報告書



日本学術振興会
サンフランシスコ研究連絡センター

NAFSA について

NAFSA はアメリカを拠点とし、国際教育交流を推進する目的で 1948 年に設立された非営利団体である。会員は世界 150 カ国、3,500 を超える教育機関・団体、政府機関、民間企業などに所属する約 10,000 人で構成され、国際教育交流に携わる人々の専門性の向上や能力開発、留学交流の促進や関連する政策提言等の活動を行っている。毎年 5 月末に総会が開催され、会議や研修、講演、発表、展示、その他ネットワーク構築のためのさまざまなイベントが催されている。

本報告書について

2014 年の NAFSA 年次総会は、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴで 5 月 25 日から 30 日にかけて開催され、ワシントン研究連絡センター及びサンフランシスコ研究連絡センターの職員 8 名が参加した。本報告書は、参加したセミナー等の中から、特に日本の大学等において有用な情報と考えられるものをサンフランシスコ研究連絡センターが抜粋・抽出し、まとめたものである。

報告者一覧(50 音順)

奥野 篤志	(ワシントン研究連絡センター、大阪大学)
小野 真莉子	(ワシントン研究連絡センター、文部科学省)
倉橋 孝幸	(サンフランシスコ研究連絡センター、高知工科大学)
高橋 洋平	(サンフランシスコ研究連絡センター、文部科学省)
田中 旭	(ワシントン研究連絡センター、東京医科大学)
豊木 麻紀子	(ワシントン研究連絡センター、東京大学)
豊田 真規子	(サンフランシスコ研究連絡センター、一橋大学)
渡邊 千尋	(サンフランシスコ研究連絡センター、東京大学)

目次

留学生受け入れ

2020:Strategic Marketing Within International Enrollment Management (2020年に向けて:留学生のエンrollmentマネジメントにおける戦略的マーケティング)	3
Developing Competencies of Exchange Students Through Engaging Global Student Communities (グローバル学生コミュニティへの参加を通じた交換留学生の能力向上)	5
Using Social Media as a Successful Recruitment Strategy (ソーシャルメディアを活用した募集戦略)	7
Hybrid Orientation Model for International Students (留学生のためのハイブリッドオリエンテーション)	9
English Proficiency 101: Are You Setting the Right IELTS English Language Requirements? (英語力の基礎: 入学基準としての IELTS のスコアを正しく設定していますか?)	10
Advancing Comprehensive Internationalization Through Student Integration (学生交流による包括的な国際化促進)	13
Economic Impact of International Students Around the World (留学生が与える経済的影響)	14
Is Your Campus Truly International Student Friendly? (あなたの大学キャンパスは本当に留学生にフレンドリーですか?)	16
Exploring Academic Challenges: The International Student Point of View (留学生から見た学業上の課題)	17
Solutions for a Competitive World: Managing Strategic Risk in International Enrollment Management (留学生のエンrollmentマネジメントにおける戦略的リスク管理)	19

留学生送り出し

Graduate Student Global Experience and Expectations: Examining the Data (大学院生の国際経験と今後の見通し: データによる検証)	23
Risk Management and Support Services for Overseas Programs (海外プログラムにおける危機管理とサポート体制)	25
Storytelling and Study Abroad: Enhancing the Returnee Experience (物語りと留学: 帰国学生の経験の充実)	27
Creating International Internship Opportunities for Graduate and Professional Students (大学院及び専門職課程の学生を対象とした国際インターンシップの機会創出)	28

グローバル化への対応

Defining the Term “Global Competency” Within Global Contexts (グローバルな文脈における「グローバル・コンピテンシー」の定義づけ)	33
Expanding Pathways Toward Global Competence Through Faculty and Staff Exchanges (教職員の大学間交流を通じたグローバル能力の獲得)	34

Guest Speaker: "Required Skill: Good Communicator" What Does it Really Mean in Today's Global Workplace? (グローバル化が進む今、求められるスキル“Good Communicator”の本当の意味とは?)	36
--	----

多国間連携

The New Frontier in International Collaboration: Trilateral and Multilateral Partnership (国際的共同活動における新境地: 三国間及び多国間パートナーシップ協定)	39
---	----

高等教育の価値・質保証

Guest Speaker: The Future of Higher Education (高等教育の未来)	43
Outcome Assessment: US And International Perspectives (アウトカム・アセスメント: 米国、豪州、欧州の視点)	44

カリフォルニア

The California Dream: Innovation, Discovery, and Access in California (カリフォルニアドリーム: カリフォルニアにおけるイノベーション、創成、高等教育へのアクセス)	49
---	----

ラテンアメリカ

Building Strong Partnerships with Latin Americas (ラテンアメリカとの強力なパートナーシップを築く)	53
Brazil: Everything You Need to Know (ブラジルについて知るべきことのすべて)	55

(参考資料)NAFSA 2014 Conference Daily Schedule	57
--	----

留学生受け入れ

2020:Strategic Marketing Within International Enrollment Management (2020 年に向けて:留学生のエンrollmentマネジメントにおける戦略的マーケティング)

日時: 2014 年 5 月 27 日 (14:30-15:45)
 発表者: Cheryl Darrup Boychuck (CIEO of USJournal and FundsV, United States)
 Markus Badde (CEO of ICEF, Germany)
 Chris Price (Adventus Education and Barton Carlyle, United Kingdom)
 Tony Lee (Head of Digital Marketing at INTO University Partnerships, United Kingdom)

報告者: サンフランシスコ研究連絡センター 倉橋孝幸

このセッションでは、大学における理想的な留学生の受入れのあり方について、マーケティング戦略と募集方法の観点から発表があった。特に留学エージェントに関する情報が意義深いと思われるため、以下のとおり報告する。

(欧州における留学生募集の媒体)

EAIE(欧州国際教育連盟)が高等教育機関に対して行ったアンケート(EAIE Marketing & Recruitment Survey July 2013)によれば、「自身の機関にとって最も重要な留学生(学士課程)募集の媒体は何か」という問いへの回答は以下のとおりであった。

オンライン市場	39%
留学エージェント	34%
大学のパートナーシップ	11%
進学相談会	5%
卒業生	1%

(中国における留学エージェント)

大学や学生に関する国際的な調査会社であるi-graduateが行った調査「2012 international Student Barometer」によると、米国の大学で学ぶ留学1年目の中国人留学生に対して実施したアンケートにおいて、米国への留学にあたりエージェントに依頼をした割合が2012年は43%という結果が出ている。またエージェントを利用した学生の86%が、エージェントの制度は役に立ったという評価をしている。このことから中国の市場ではエージェントの役割は非常に大きいといえる。



(各国の留学エージェントに対するアンケート)

学生募集等に関するコンサルティング会社であるICEFがi-graduateの協力を受けて行った「The ICEF i-graduate Agent Barometer」という調査では、各国の留学エージェントに対してアンケートを行い、2013年には117ヶ国1,194のエージェントから回答を得た。この1,194のエージェントは直近の12ヶ月で計330,000人の学生を各国に送っている。以下、本アンケートの結果を紹介する。

【留学先国別の留学生数に関する見込み】

- 2013年のアンケートでは、海外の教育機関へ送り出す学生数が直近の一年間より「増加する」「減少する」「横ばい」のいずれになるかという質問に対して、81%のエージェントが米国への留学は「増加する」見込みと回答した。
- 「増加する」との見込みを回答した国としては、米国(81%)に続いて、イギリス(76%)、カナダ(73%)、オーストラリア(71%)の順となっており、日本は20位(45%)である。

【留学先選択に何が影響を与えるか】

- 2012年のアンケートでは、留学先地域の選択に影響を与える要因として考えられるものとして以下の回答を得られた。(上位のみ記載)
- ロケーション(87%)、学費(85%)、入学資格(63%)、講義言語(63%)、ビザの取得しやすさ(61%)、就職見込み(58%)、口コミや推薦(55%)、安全性(54%)、留学生へのサポート(54%)。

【留学先として魅力ある国】

- 2013年のアンケートでは、留学エージェントに国別に留学先としての魅力を「非常に魅力的」「魅力的」「魅力的でない」「非常に魅力的でない」の4段階で尋ねたところ、「非常に魅力的」という回答が多かった国は以下のとおり。
- 米国(73%)、カナダ(64%)、イギリス(63%)、オーストラリア(53%)、ニュージーランド(33%)。

【米国、イギリスの留学先機関について】

- 2012年及び2013年のアンケートでは、米国は学部、大学院、MBA、大学の長期休暇を利用した就業体験プログラムへの留学において各国よりも高い評価を得ている。一方でイギリスは言語コース、高等学校、ファウンデーションコース(※)への留学において各国よりも高い評価を得ている。
(※)イギリスの高校卒業と同等の資格を持たない留学生がイギリスの大学に入学するために修了することが義務付けられているコース。英語やITスキル、専門科目などを学ぶ。

Developing Competencies of Exchange Students Through Engaging Global Student Communities (グローバル学生コミュニティへの参加を通じた交換留学生の能力向上)

日時: 2014年5月27日(14:30-15:45)

発表者: Nigel Cossar (Head, Student Mobility, University of Melbourne / Melbourne Global Mobility)

Guido De Wilde (Student Exchange Coordinator, Universiteit Van Amsterdam)

Deirdre Healy (International Exchange Assistant, University College-Dublin International Office)

Pauline Ho (Deputy Director, Nanyang Technological University)

報告者: サンフランシスコ研究連絡センター 豊田真規子

(University College-Dublin (UCD) の事例: UCD Global Lounge)

- UCD Global Lounge (<http://www.ucd.ie/international/current-students/global-lounge/>)は、グローバル志向の学生グループや団体の活動をサポートするための場として、活気があり居心地のよい空間を提供することを目的に設置された。
- 施工費用は大学の経費と篤志家からの寄付による。16か月の計画、施工期間により完成。
- ラウンジ内に留学生支援のためのオフィスを設置し、受入と派遣、両方の留学生に対するワンストップサービスの場を作った。
- 学生による運営を行い、週7日オープン。学生同士(peer-to-peer)によるメンタリングサポートも提供。
- アイルランド人学生と留学生の交流を図るため、国際・文化交流にフォーカスしたイベントが開催されている(たとえば Indonesian Gamelan Performance、Indian Music Recital、Iranian New Year、Games Afternoon、International Student Café、Indian Society Event など)。また、留学生のためのオリエンテーションプログラムや就職説明会、交換留学の説明会の会場としても利用している。
- UCD Global Lounge の効果
 - UCD Global Lounge の設置により、大学の支援サービスに対する留学生の満足度は、2009年の84%から2012年には94.5%に上昇した。
 - 国際交流を促進する施設の設置により、学生の流動性が10%上昇した。
 - オープン後の最初の1年間で、のべ30,000人のアイルランド人学生と留学生が、230を超えるイベントに参加した。
 - 魅力的なスペースと立地が成功の要因。

(University of Melbourne の事例: Melbourne Welcome)

- “Melbourne Welcome” (<http://www.mobility.unimelb.edu.au/inbound/life/melbourne-welcome.html>)は、メルボルン大学の交換留學生のための4泊5日のオリエンテーションプログラムで、年に2回、キャンパスで行われている。留学生の参加者は180人。
- 学生リーダー3人と学生ボランティアホスト20人が、Melbourne Global Mobilityと連携して運営する学生主導(student driven)のプログラムである。学生リーダーとボランティアホストは交換留学を経験した学生から選んでいる。
- 留学生と運営側の学生から100%肯定的なフィードバックを受けている。
- “Melbourne Welcome”は、学生同士の交流をとおり、交換留學生のキャンパス生活やメルボルン文化への適応を容易にし、また、学生間の長期にわたって続く友人関係の構築にも寄与している。
- 学生リーダー(Student Leadership Team)
 - 3人の枠に200人の応募があった。
 - プログラムの企画と経費の管理、施設や乗り物の手配、情報発信、ボランティアホスト20人の監督を含めたプログラムの実行に携わる。

- 学生ボランティアホスト (Student Volunteer Hosts)
 - 全 20 人。キャンパスツアーや市街地ツアーなど、グループ活動時に留学生に付き添う。
 - 大学やメルボルンでの生活の情報を留学生に提供し、新しい環境に適応するのを助ける。
 - プログラムに関して、留学生の派遣元大学の職員と学生リーダーの指示を受ける。
 - 応急措置やセクシャルハラスメント、差別、文化間コミュニケーション、プログラムの実施に関する研修を受ける。
- 学生はプログラムをとおり、①研修による応急処置などの知識と技術、②対人関係スキル、③さまざまなバックグラウンドを持つ参加者との交流による異文化理解 (intercultural awareness) の向上と新しい友人関係の構築、④見識ある仲間とのつながり、⑤大学コミュニティに対する深い知識と帰属意識の高まり、などを獲得する。
- プログラムにかかる経費は、Melbourne Global Mobility の職員 0.3 人分の人件費、学生リーダーへの謝金 (\$8,000/年)、研修費用 (\$1,000/年)、参加登録システムなど。学内の他部署の協力も仰いでいる。留学生からは参加費 (\$550) を徴収。

※University College-Dublin と Nanyang Technological University の事例は割愛。

Using Social Media as a Successful Recruitment Strategy (ソーシャルメディアを活用した募集戦略)

日時: 2014年5月27日(11:45-12:45)

発表者: Mandy Reinig (Director of International Education, St. Mary's College of Maryland)
Jessica Winters (Coordinator Marketing & Social Media, University of Groningen)

報告者:ワシントン研究連絡センター 奥野篤志

このセッションでは、大学等のソーシャルメディアを活用した広報活動についての講義が行われ、セッションの冒頭にはソーシャルメディアがグローバルに活用されている実態が説明された。

(目標設定)

- ソーシャルメディアを活用するうえでは明確な目標を設定することが大事。それがなければソーシャルメディアを上手く活用できているかどうか分からない。
- 時間の制限等を考慮し、達成可能な目標を設定することが大事。例えば「5日間でフォロワーを1,000人増やす」等、達成不可能なものは目標にすべきでない。
- ソーシャルメディアに費やされる時間や予算等も限られていることを前提とすること。

(適切なソーシャルメディアの選択)

- 現在活用可能なソーシャルメディアは数多く存在するが、全てを知る必要はなく、ニーズにあったものを目的、用途によって使い分けることが大事。

(学生による広報活動)

- 学生にソーシャルメディアの更新を依頼している大学もある。その場合、報酬は最低賃金を少し上回る程度を基準にしている。
- 大学にとって、今何を掲載すべきかを一番良く知っているのは学生であることが多い。

(中国のソーシャルメディアの活用)

- 中国では、インターネット規制のため、FacebookやTwitter等、現在主流となっているソーシャルメディアはブロックされてしまう。
- 中国は世界で主流となっているものに対応する独自のソーシャルメディアがある。中国での学生リクルート活動をソーシャルメディアを通して行うのであれば、それらを活用する必要がある。
- 中国でもっとも人気のあるソーシャルメディアサイトは約5億人のユーザーがいて、市場規模は非常に大きい。

(中国の主要なソーシャルメディアサイトと規模)

中国のソーシャルメディア	対応するソーシャルメディア	規 模
Renren	Facebook	約1億9400万人のアクティブユーザー
Youku.com	Youtube.com	閲覧回数約1億5千万/日 (1日あたり閲覧されている時間は youtube より多い)

(実際の運用にあたって)

- 中国でのソーシャルメディアに詳しい中国人留学生を雇うことによって、両国の架け橋とすることができ、内容も中国向けのものにすることができる。同時に、事務職員に掛かる負担も軽減できる。

ソーシャルメディアの管理・運用を学生に一部委任しているという話が随所にあったが、有効に機能しているとのことだった。

Hybrid Orientation Model for International Students (留学生のためのハイブリッドオリエンテーション)

日時: 2014年5月28日(13:15-14:15)

発表者: Denise Kinsella (Associate Dean, International Education, Santa Monica College)
Melissa Lyon (Director, International Student Services, California State University)

報告者: ワシントン研究連絡センター 豊木麻紀子

※ハイブリッドオリエンテーションとは、オンラインオリエンテーションと実地オリエンテーション両方を行うことを指す。

(ハイブリッドオリエンテーションの重要性について)

- 留学生の留保率(**retention rate**)を高めるためにも、大学へ所属意識を持たせるオリエンテーションは非常に重要である。
- 新入生全体を対象としたオリエンテーションと留学生を対象としたオリエンテーションは内容に違いを持たせる必要があり、留学生対象のものについては、大学についてだけでなく、アメリカの文化について説明する必要がある。しかし、限られた時間のなかで全てのトピックを網羅するのは不可能であるため、ハイブリッドオリエンテーションを行うことになる。

(オンラインオリエンテーションの実行例)

- 留学生の到着前にオンラインオリエンテーションのリンクを全員に送付し、渡航前までに全員が必ず修了するようにする。
- オンラインオリエンテーションの利点は、それぞれの学生のニーズに合った情報を提供できることである。サンタモニカカレッジ(コミュニティカレッジ)では留学生が4年制大学への編入を前提として留学してくることが多いことを踏まえ、転入先として多い大学毎に編入条件を表示し、留学生が授業選択を行う際に役立たせている。カリフォルニア州立大学ロングビーチ校では、学生が希望する専攻毎に必修条件を提示し、留学前にある程度ニーズに対応した個別の(**tailored**な)情報を提供している。
- ビザについても配偶者ビザ、学生ビザ、交換ビザなどそれぞれ事情が違うので、ビザ維持の条件についてもそれぞれ表示を行う。

(実地オリエンテーションの実行例)

- 国籍毎に固まらないように留学生をグループに分け、かつ、在学生をメンターとして付け、キャンパス内のツアーをする。特に学生支援を行う場所—ライティングセンター、保健センター、カウンセリングセンター等にはスタンプラリー形式で全員1度は行くようにする。スタンプラリーについては順位をつけてしまうと学生は早く終了させることをゴールと考え、オリエンテーションの内容に注意を払わなくなってしまうため、競争はさせないことがポイント。
- 最後に集合場所に戻ってきたところでアンケート、もしくは簡単なテストを課すことにより、途中で学生が帰らないようにする。テストについては選択式ではなく、記入方式にし、きちんと学生がキャンパスについて理解を深めたかどうか確認を行う。

English Proficiency 101: Are You Setting the Right IELTS English Language Requirements?
(英語力の基礎: 入学基準としての IELTS のスコアを正しく設定していますか?)

日時: 2014年5月27日(13:00-14:00)

発表者: Katie Shibata (IELTS USA Recognition Manager)

Anne Dela Cruz (Ed.D, UCLA Director of Diversity, Inclusion and Admissions)

報告者: サンフランシスコ研究連絡センター 倉橋孝幸

このセッションでは、IELTSの概要、米国の教育機関等との関係、スピーキングテストについて説明が行われた。

(IELTSの概要)

- IELTS (The International English Language Testing System) は、英語をコミュニケーション言語とする環境で勉強や仕事をするを考えている、非英語圏の話手の英語能力を評価するために作られたテストであり、ブリティッシュカウンシル等により実施されている。
- IELTSは、資格を有した試験官との1対1の面接試験と筆記試験で構成され、2つの形式(アカデミック・モジュール、ジェネラル・トレーニング・モジュール)から受験者は自身に適した試験を選ぶことができる。
- IELTSでは、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの各パートごとの英語力が、1.0～9.0のバンドスコアで示される他に、総合評価としてオーバーオール・バンド・スコア(下表)が与えられる。

<オーバーオール・バンド・スコア(総合評価)の解釈>

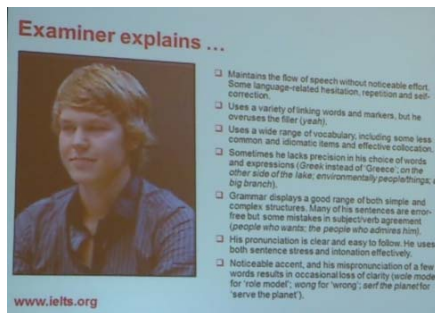
9 エキスパート・ユーザー	十分に英語を駆使する能力を有している。適切、正確かつ流暢で、完全な理解力もある。
8 非常に優秀なユーザー	時折、非体系的な不正確さや不適切さがみられるものの、十分に英語を駆使する能力を有している。慣れない状況においては、誤解が生ずることもありえる。込み入った議論に、うまく対応できる。
7 優秀なユーザー	時折、不正確さや不適切さがみられ、また状況によっては誤解が生ずる可能性もあるが、英語を駆使する能力を有している。複雑な言語も概して上手く扱っており、詳細な論理を理解している。
6 有能なユーザー	不正確さ、不適切さ、および誤解がいくらか見られるものの、概して効果的に英語を駆使する能力を有している。特に、慣れた状況においては、かなり複雑な言語を使いこなすことができる。
5 中程度のユーザー	部分的に英語を駆使する能力を有しており、大概の状況において全体的な意味をつかむことができる。ただし、多くの間違いを犯すことも予想される。自身の分野においては、基本的なコミュニケーションを行うことができる。
4 限定的ユーザー	慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。理解力、表現力の問題が頻繁にみられる。複雑な言語は使用できない。
3 非常に限定的なユーザー	非常に慣れた状況において、一般的な意味のみを伝え、理解することができる。コミュニケーションが頻繁に途絶える。

2 一時的なユーザー	確実なコミュニケーションを行うことは不可能。慣れた状況下で、その場の必要性に対処するため、極めて基本的な情報を単語の羅列や短い定型句を用いて伝えることしかできない。英語による会話、および文章を理解するのに非常に苦勞する。
1 非ユーザー	いくつかの単語を羅列して用いることしかできず、基本的に英語を使用する能力を有していない。
0 非受験者	評価可能な情報なし。

日本英語検定協会ホームページより引用

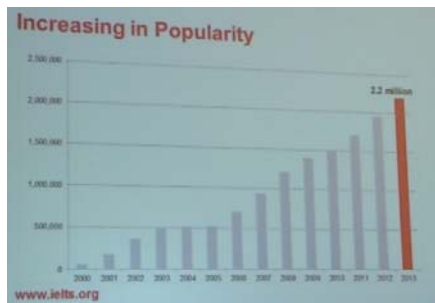
(スピーキングテスト)

- スピーキングテストの評価対象となる主なポイントは以下の4点である。
 - 流暢さと話す内容が整然としているか
 - 語彙の豊かさ
 - 文法を正確かつ適切に使用しているか
 - 発音
- 会場では実際のスピーキングテストの様子、及び担当した試験官の採点内容について動画を用いて説明された。



(高等教育機関におけるIELTSの利用)

- IELTS は、世界130ヶ国900以上の都市で試験が実施され、受験者数は毎年大きく増加している。2013年には200万人を超えている。



- 世界中の9,000を超える高等教育機関等が志願者の英語能力の評価にIELTSを採用している。
- 世界の高等教育機関等では、非英語圏からの入学希望者に対して、学士課程では6.0-7.0程度、大学院では6.0-8.5程度を必要とすることが一般的である。
(例)コロンビア大学ジャーナリズム専攻:8.5 ハーバード大学MBA:7.0

(米国留学と IELTS の利用)

- 米国において3,000を超える機関がIELTSを志願者の英語能力の評価に採用している。特に1,000人を超える留学生が在学する米国大学に限定すると、その96%がIELTSを採用している。また米国の50を超える都市でIELTSを受験することができる。

	US-bound IELTS Countries
1	中国
2	インド
3	サウジアラビア
4	ベトナム
5	クエート
6	バングラデシュ
7	日本
8	香港
9	韓国
10	フィリピン

米国の高等教育機関等の受験に IELTS を利用する受験者数の国及び地域別データ (IELTS 調べ)

	Top IIE Open Doors	留学生数
1	中国	235,597
2	インド	96,754
3	韓国	70,627
4	サウジアラビア	44,566
5	カナダ	27,357
6	台湾	21,867
7	日本	19,568
8	ベトナム	16,098
9	メキシコ	14,199
10	トルコ	11,278

米国の高等教育機関等に在学する留学生数の国籍 (地域) 別データ (IIE Open Doors2013 より)

Advancing Comprehensive Internationalization Through Student Integration (学生交流による包括的な国際化促進)

日時: 2014年5月29日(9:30-10:30)

発表者: Swaraj Nandan (Director, KIC UnivAssist)

Dr Joe Potts (Director International Students & Scholars, Purdue University)

Jon Weller (Director of International Admissions, University of Cincinnati)

報告者: サンフランシスコ研究連絡センター 豊田真規子

留学生とアメリカ人学生の交流のケーススタディを通し、包括的なキャンパスの国際化について議論がなされた。交流の促進には、留学生のアメリカ文化受容、学術面での成功、キャンパスコミュニティへの参加を助ける大学の取組が必要であり、その取組は入試の段階から求められている。

(University of Cincinnati (UC) の報告)

- 留学生約3,000人のうち、2014年は中国とインドからの留学生が1,200-1,300人。現在中国に3人、インド、ベトナムにそれぞれ1人スタッフを置いている。
- International Admissionsのスタッフには、それぞれ担当地域を持たせている。
- 受入に当ってはTOEFLのスコアに基準を設定しているが、全体のスコアではなく、セクションごとのスコアにそれぞれ基準を設けることにより、キャンパスコミュニティに溶け込むために必要な語学力を備えた学生を受け入れることができている。
- 現在、中国、インド、サウジアラビア、ベトナムからの留学生が、International Ambassadorsとして、UCへの進学を考える留学生に向けて、UCでの経験をオンラインで発信している (<http://ucintlambassadors.weebly.com>)。また、International Ambassadorsが受験生からの質問に答えるなど、入試プロセスにも関与している。
- キャンパスにおける国際教育の促進のためには、留学生受入部署と派遣部署の連携、国際に焦点を当てた授業の展開、国際化を大学の最優先事項に置くことが重要である。

(Purdue大学の報告)

- 留学生の友人関係は学業成績にも影響を与える(キャンパスコミュニティに溶け込んでいる学生のほうが成績がよい)。
- Purdue大学のアメリカ人学生11,000人と留学生4,000人を調査したところ、最も親しい友人5人にアメリカ人学生が入っている中国人留学生は5%であった。また、最も親しい友人5人に留学生が入っているアメリカ人学生も5%であった。アメリカ人学生との友人関係の満足度について、40%近くの中国人留学生が満足、30%がどちらでもないと回答している一方、およそ半数の中国人留学生はアメリカ人学生の友人を作ることが難しいと回答している。
- 留学生とアメリカ人学生の交流を促すには、学内の多くの部署を巻き込み、交流促進の一端を担っているという責任感をもってもらう必要がある。たとえばPurdue大学では学内の様々な部署の職員を現地における出発前オリエンテーションのため海外出張させ、留学生やその親に会わせている。
- Purdue大学での留学生に対するサポート経費は、国内学生より年2,000ドル高く設定されており、留学生の授業料で賄われている。
- Purdue大学での留学生サポートの例: 留学生の母国語でのカウンセリング、ライティングサポート、初年度のメンタリングプログラム、キャリアサポートなど。
- 留学生とアメリカ人学生メンターの友人関係は、メンタリングプログラムの終了後も続く傾向がある。

Economic Impact of International Students Around the World (留学生が与える経済的影響)

日時: 2014年5月29日(9:30-10:30)

発表者: Christine Farrugia (Senior Research Officer, Institution of International Education)
Jason Baumgartner (Director for Information Services, Indiana University-Bloomington)
Miriam Hippchen (Head of Section, DAAD-German Academic Exchange Services)
Ainslie Moore (Education Manager, Australian Trade Commission)

報告者: ワシントン研究連絡センター 豊木麻紀子

(世界全体の留学生市場)

- 今後も留学生数は着実に増え続けると予想されており、2015年には800万人に到達すると考えられている。
- 留学先TOP3はアメリカ(19%)、イギリス(11%)、中国(8%)。中国は今までは派遣側でランキングのTOPだったが、政府の指導の元、留学生受け入れ基盤の強化を進めており、ここ2、3年で受入数が増加した。日本は全体の3%を占めている。
- 各国内の高等教育在籍学生数に占める留学生数はイギリスが19%、オーストラリアが26%であるのに対し、アメリカ、日本は4%となっている。

(アメリカの留学生市場)

- 2012-13年度の統計によると、アメリカには現在819,644人の留学生が滞在しており、学部留学生が339,993人、大学院留学生が311,204人を占める。過去10年の統計では大学院に在籍する留学生の数が学部留学生を上回っており、トレンドの変化が起きている。
- 全ての留学生のうち64%(学部課程については81%)は、自己資金以外のサポート(奨学金等)を受けずに米国に滞在している。
- 出身国別に留学生がアメリカ滞在中に使う金額を計算したところ、中国、インド、韓国がTOP3となった。近年、サウジアラビア政府奨学金を支給された学生がアメリカに留学する事例が急増しており、韓国を抜く可能性も高いとのこと。
- 留学生を多く受け入れることはキャンパスの国際化のみならず、雇用機会の創出にもつながると考えられている。NAFSAの2012年度統計によると、7人の留学生につき3つの雇用機会が創出されているとのこと。
- 一部の有名大学を除き、大学経営を現在と同じ規模で行っていくには留学生の存在が不可欠。

(オーストラリアの留学生市場)

- 留学生の受け入れはオーストラリアでは輸出産業として捉えられており、輸出カテゴリの中の4位、サービス業関連の輸出では1位の大きな市場となっている。
- 留学生の在籍先としては高等教育機関が最も多い。豪州内有力研究型大学の集合体であるGroup of Eightでは留学生からの収入は全体の9%だが、ニューサウスウェールズ州、クイーンランド州の高等教育機関では留学生からの収入が全体の30%以上を占めている。
- オーストラリアでは2人の留学生につき1つの雇用機会が創出されると考えられており、2009年には留学生により18万(フルタイム換算)の雇用が作り出された。

(ドイツの留学生市場)

- ドイツでは専門職学位を除き高等教育に学費がかからないため、アメリカ、オーストラリアとは少し事情が異なる。しかしながら、新聞の一面に「誰が留学生にかかる経費を払うのか?」という見出しが最近掲載されたことがあり、このことに対して国民感情が良いとは言いきれない面もある。
- 留学生一人当たりが1年間にドイツ国内で使う金額の平均は約13,000ユーロ。

- ドイツで学位を取得した学生のうち、50%がドイツで就職する。しかしながら、ドイツ国内にどれだけの期間留まるのかはわかっておらず、これから DAAD で追跡調査を行う。
- 他国で学位を取得し、ドイツに仕事で引っ越してきた人たちに比べると、学生時代に既にドイツ生活を経験している元留学生はドイツの仕事環境やコミュニティに溶け込みやすい。
- ドイツ政府としては学位の取得に成功した留学生を”skilled worker”とみなし、少しでも多くの学生がドイツに残るよう、卒業後もビザを一定期間維持できるよう法律を変え、職探し期間中にアルバイト等も行えるようにしてきた。これからも更に制度改正を進める予定。

Is Your Campus Truly International Student Friendly? (あなたの大学キャンパスは本当に留学生にフレンドリーですか?)

日時: 2014年5月29日(14:00-15:15)

発表者: Kenneth Wang (Assistant Professor, University of Missouri)
Dr Gifty Ako-Adounvo (Director, International Students and Scholars, The Ohio State University-Columbus)
Jarred Butto (Program Officer, EducationUSA Jeffrey Selingo (Contributing Editor, The Chronicle of Higher Education))
Karen Edwards (Associate Dean & Director, Grinnell College Office of International Student Affairs)

報告者:ワシントン研究連絡センター 小野真莉子

米国の多くの大学は、留学生にフレンドリーな環境を提供しているとされるが、実際のところそれはどういうことを意味するのか。留学生にとって理想的なキャンパス環境とするための課題や、取組に関する評価方法等の発表が行われた。

(米国の現状)

- 留学生は米国経済に 247 億ドル程度の貢献をしており、また留学によって得られたスキルにより自国へ貢献していくこととなる。
- 一方で、留学生数は米国学生数の 4%に満たず、70%近くの留学生が 200 程度の高等教育機関や語学学校等に偏って所属している状況。
- EducationUSA は、170 か国以上に 400 以上のセンターを持ち、アメリカ留学に関する最新で正確かつ公正な情報やアドバイスの提供等を行っている。留学生を支援する体制を整えるには、キャンパスを超えて大学や社会、政策決定者の協働が必要。

(取組事例)

- オハイオ州立大学の学部留学生の数は、この 10 年でおおよそ 3 倍に増加し、中でも中国からの留学生が 809 人→2,392 人と増えている。このような状況の中、学修上のサポート(主にライティング)を手厚くしたり、キャンパス活動への参加機会や交流機会を増やして留学生の大学に対する帰属意識を高めることが求められている。留学生も学修や教室に溶け込むための準備がこれまで以上に必要であるし、大学側も留学生に対して文化交流に関するトレーニングの実施が必要である。そのため、中国人留学生に対しては、国際課や学生課等の部署が連携して、出発前オリエンテーションを中国で行っている。また、地元空港や地元ボランティアの協力も得て、留学生が到着した際に空港での歓迎プログラムを実施している。受入れ側の歓迎の気持ちを留学生に対して表すことは非常に重要と考えている。なお、これらの取組については、インタビューやオンラインアンケート、データ分析等の手法を組み合わせたアセスメントを実施している。
- グリネル大学は、小規模校であるため、スタッフ数が少く兼務が多い、留学生に関するデータ量が少ない等不利な面も多いが、学生とスタッフの距離が近くコンタクトが密に取れるという利点を活かし、あらゆる部署が一体となって学生の声に耳を傾け、フレンドリーで家族のような関係を築くよう努めている。

Exploring Academic Challenges: The International Student Point of View (留学生から見た学業上の課題)

日時: 2014年5月30日(8:00-9:00)

発表者: Leyah Malcha Bergman Lanier (Director, Spring International Language Center, University of Arkansas-Fayetteville)
Rochelle Keogh (Teacher Training Coordinator, Spring International Language Center, University of Arkansas-Fayetteville)

報告者:ワシントン研究連絡センター 田中旭

(University of Arkansas の留学生と英語の語学支援)

- 学生総数(学部・大学院)は23,286人でうち留学生は1,278人。115か国から来ており、中国、インド、ボリビアからの留学生が多い。
- Spring International Language Center(以下「センター」という)では Intensive English Program(7つのレベルがあり、約250人の学生が受講)、English Language and Cultural Studies(2003年の開始以来279のクラスを開講、毎学期約180人の学生が受講)をESL(English as a Second Language)のカリキュラムとして提供している。

(調査の目的・対象)

- 調査の目的は、①留学生が直面している学業上の課題、②リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4スキルの重要性の認識、③どのような種類でどれくらいの量の読み書きが求められているのか、の3点について教職員ではなく学生の視点から把握することによって、実際のニーズに基づいたコースを提供すること。
- 調査は、まず41人のESLの学生を対象に聞き取り予備調査を行い、そのフィードバックを基に学位課程の留学生全員(1,278人)を対象に調査を行った。回答者は140人。

(調査結果まとめ)

- 回答者の専攻をおおまかな分野で分類・集計(商学27%、社会科学28%、工学25%、理学20%の4分野)。
- 直面している課題は、①クラス内でのプレゼンテーション、②ライティングの宿題、③授業中のライティング(テストを含む)が上位に挙げられた。アカデミックなプレゼンテーションを扱った授業をこれまで提供していなかったため、ニーズとのギャップが明らかになり、カリキュラムの見直しにつながった。
- 全体ではリーディングは76%が重要と考える一方で、スピーキングは65%が重要と回答。スピーキングを重要と考える学生の割合は想定よりも低いことが分かった。ただし87%の学生が就業上スピーキングは重要と考えている。
- リーディング、ライティングがどれほど重要と考えるかについては分野によって差がみられた(4段階評価で4 = very important、3 = important...)。社会科学ではリーディングの宿題量が多い(100ページ以上/週あるとした学生が半数以上)ためリーディングをとっても重要と答えた学生がほとんど(3.94)な一方で、商学では平均して3.48と大きく差が出た。
- 読む資料の種類についても分野ごとに違いがみられた。社会科学では教科書が最も重要と考えているが、STEMと商学では教員のハンドアウトが最も重要とみている。また、商学で2番目に重要なものとしてEメールが挙げられた。STEMと商学でハンドアウトが想定よりも重要視されていること、商学では想定していなかったEメールが上位に挙げられていることが調査で分かり、これもカリキュラムの見直しにつながっている。
- ライティングの内容も分野ごとに異なる。社会科学では論文、研究計画書や要約などセンターで開講しているアカデミック・ライティングで対応しているものが主要であるのに対し、商学

ではEメール、工学では研究レポート、数学の問題演習が重要であると回答があり、ここでもギャップが判明した。

- ライティングを支援する **Writing Center** を設置しているが、52%の学生は利用したことがなく、32%の学生は存在すら知らなかった(オリエンテーションで案内はしている)。

(調査結果からの意義)

- ESLのプログラム編成にあたっては、専攻・分野で求められるタスクの種類に応じたコース設定が必要。各々の機関で調査を行って留学生のニーズを把握した上で、プログラム編成を行うことが求められる。

Solutions for a Competitive World: Managing Strategic Risk in International Enrollment Management (留学生のエンrollmentマネジメントにおける戦略的リスク管理)

日時: 2014年5月30日(11:00-12:15)

発表者: Markus Badde (CEO, ICEF)

Ms Cheryl DarrupBoychuck (C.I.E.O. USJournal.com and Funds Verification)

報告者: ワシントン研究連絡センター 小野真莉子

入学前、在学中、卒業後までを一貫してサポートする総合的な留学生支援策のうち、中でも危機管理は欠くことのできない重要業務であるが、ますます複雑かつ競争的になる国際社会にあって、どのように戦略的に危機・危険をマネジメントするかについて上記のプレゼンターから説明があった。

(リスクマネジメントについて)

- リスクは、入学申請、入学許可から卒業、卒業後の至るところにあり、リスクのタイプには、戦略上のリスク、市場リスク、構造的リスク、評価リスク、プログラムマネジメントリスク、財政的リスクがある。
- 自分の機関のリスク選好度(どれくらいのリスクを受け入れられるか)を理解すること。
- 具体化の可能性のあるリスクは何かをマッピングして明らかにすること。
- リスクを特定し、定量化し、その価値を評価するために有益なツールである「リスクレジスター」を活用し発展させること。
- 機関の国際戦略の中にリスクアセスメントを組み入れること。
- 具体的なリスクの例として、ビザやプライバシーの問題がある。インターネットのセキュリティを強化することも重要だが、一番多いのはヒューマンエラーであり、確実に業務を行えるように職員の研修を充実させることや、スタッフ一人ひとりに責任感を持たせること等が重要。

(国際交流協定におけるリスク管理)

- 交渉途中で協定の基本となる部分を変更することは困難なので、あらかじめ協定の雛形を作っておくこと。
- 大学コミュニティにおいて、協定締結のプロセスや手続きに関する研修の機会を設け、ウェブページで参考情報の共有等を行うことが重要。
- 協定締結の交渉を個別の部署で開始したとしても、個々の部署やスタッフには交渉権限を与えず、協定締結業務を担うキャンパス内の組織に詳細部分の交渉については受け渡す必要がある。そのような(専門の)組織がない場合には作ること。
- 後日の反対・抵抗を避けるため、協定が単純なものであるか複雑なものであるかに関わらず、重要と思われる全てのステークホルダーを巻き込むこと。
- 協定の中に免責条項を設けること。
- 協定に関連する全てのプロジェクトについて、双方の担当者を明らかにしておくこと。

留学生送り出し

Graduate Student Global Experience and Expectations: Examining the Data (大学院生の国際経験と今後の見通し: データによる検証)

日時: 2014年5月27日(14:30-15:45)

発表者: Bonnie Bissonette (Director, Student Center for Global Education, University of Maryland Baltimore)

Anusha Chatterjee (Research Assistant, Student Center for Global Education, University of Maryland Baltimore)

報告者: ワシントン研究連絡センター 豊木麻紀子・田中旭

(University of Maryland Baltimore (UMB) について)

- UMBは6つのProfessional School(法、医、歯、薬、看護、社会福祉)を設置しているキャンパスで、Professional Degree(JDやMD)とResearch(PhD)を兼ねた博士課程を提供している小規模な大学院もある。学生数は6,300人(うち学士課程の学生は11%で89%は専門職課程・博士課程の学生)。
- メリーランド大学ではそれぞれのキャンパスに学長がおり、独立した経営を行っている。

(UMBにおける学生送り出しの現状)

- 2年前にStudent Center for Global Educationが設立され、学生により多くの海外経験を積ませるために様々なプログラムを企画している。
- キャンパスにいる学生の多くが課題量の多い大学院に在籍しているため、海外プログラムは必然的に大学が休みである夏に派遣を行うものが多くなる。
- 医療系の学位が多いこともあり、初年度はNIH(National Institute of Health)、CDC(Center for Disease Control and Prevention)等と協力してプログラムを企画した。
- 全キャンパスを挙げて学生の海外派遣に取り組むために、経済的支援確保に向けてのアドバイス提供、また、プログラム作成を担当する教員に1万ドルの資金提供を行う等の試みを行っている。

(調査の概要)

- 2013年の春に全学生(6,300人)を対象として、オンライン調査(Qualtricsを使用)を実施。これまでの海外経験(修学やボランティアを目的とした2週間以上の滞在)の有無、有る場合はその目的、期間、活動内容とそこから受けた影響、UMB在学中に海外経験を積みたいかどうか、またその意思決定に影響を与える要因について調査を行った。
- 調査の目的は在学生の海外経験について情報収集・分析するとともに、調査結果を材料にして学内、連邦・州議会議員に対して学生の国際教育を進めるための提案・提言を行う。
- 海外経験から得た影響は次の観点から評価: 職業的役割、国際感覚、人格の成長、知的成長、グローバルとローカルのつながり、リーダーシップ、グループワーク、文化的な気づき(International Education Survey(Zorn, 1996)を基に適宜質問を追加)。

(調査結果)

- 回答数は対象者の約10%、うち92%がアメリカが母国であるとしている。58%が博士課程、29%が修士課程、13%が学士課程であった。
- 51%の学生が海外経験があると回答し、経験内容は現地の人たちとの協働、語学留学、講座の単位取得のため、ボランティアが多く挙げた。
- 経験からの影響は1から7のスケールで評価してもらった。分野ごとの差異は歯学分野が若干低いもののおおむね近い値となり、総じて肯定的に捉えている。
- 回答者の多くが、海外経験が職業選択、海外への観点、人間としての成長に大きな影響を及ぼしたと回答。
- 今後海外経験を積みたいかどうかについては、約半数の学生が積みたいと答えている。

- 意思決定に影響を与える要因については時間、費用が挙げられており、学生の学習計画、カリキュラムの支障とならないような設計が求められる。
- 学生からの期待・要望としては、専門職・博士課程向けの海外経験支援に関する情報の入手しやすさ、専門領域に特化した海外経験、よく整備された綿密で質の高いもの、これまで渡航先の中心だった欧州のみでなくより広範な国が選べること、国際的なカリキュラム編成が回答から得られた。なかでも学生からもカリキュラムの国際化を望む声があることを把握できたのは意義深い。

(今後 UMB で考えられる対策)

- 帰国後にアメリカ、もしくは本人が所属するコミュニティで、海外経験をより良く活かせるようなプログラムの開発。
- 学生が海外に渡航するタイミングを懸念することのないよう、カリキュラムの中に海外プログラムの組み込み等を行う。
- 経済的支援についても大学が渡航費用を出すようなプログラムを増やすのみならず、様々なプログラムの広報活動、学生のファンドレイジングへの支援強化。

Risk Management and Support Services for Overseas Programs (海外プログラムにおける危機管理とサポート体制)

日時: 2014年5月27日(11:45-12:45)

発表者: Douglas Podoll (Board of Regents of the University System of Georgia)

Kathy Hargis (Director, Risk Management, Lipscomb University)

Bob Lammey (Sr. Director - Higher Education, High Street Partner)

報告者: ワシントン研究連絡センター 奥野篤志

このセッションでは、多くの学生等が海外に行き、多額の経済的支援を大学が行ううえでのリスクについて、ケーススタディとともに説明された。

(数多くの留学生を抱えるうえでのリスク)

- 発表者の Douglas Podoll 氏は、Georgia Institute of Technology の人事部門での経験がある。また同校は、海外に多くの支部があり数多くの学生がいる。
- セッションは Podoll 氏の以下の質問で始まった。
「貴方の大学では、留学生の税金、入国等のコンプライアンスに関わっているフルタイムの職員、または海外プロジェクトを行う外国の地におけるコンプライアンスに関わっているフルタイムの職員が何人ぐらいいるか？」
- ここでのリスクとは、運営上のリスク、経済的なリスクや風評に関するリスク等様々なものを指す。

(海外でのプログラム等で留意すべきこと)

- 海外で活動するうえでは対物補償や事故の補償を事前に確認しておくことが重要である。保険の条項の中には様々な除外規定が存在し、海外での活動に大きく影響することがある。特に新たに活動範囲を広げる場合には注意が必要。
- 海外での活動中に何か問題があった場合は、すぐに本国の危機管理部署に伝え、早期の解決を図ることが重要。
- そのためには事前に危機管理部署と連携を取って、危機管理に対する包括的なプランを練っておく必要がある。これを怠れば何かあった場合に大学が責任を被ることになりかねない。
- 精神衛生の問題も発生する可能性がある。プログラムに参加する学生の中には、鬱や不安といった症状を持つ学生もいて、海外に行くことがその症状に影響を与える場合があると考えられる。
- 海外プログラムを補助する現地スタッフを雇った場合、本国でスタッフを雇ったのと同じ雇用関係及び責任が生じる。

(危機管理計画等に関する注意点)

- 危機に対応するためのチームの人数は最小限が良い。多いと混乱をきたす可能性がある。
- また危険性を含むものとして、「思い込み」がある。例えば、「20年プログラムを実行してきて何も問題が無いから今後も大丈夫なはずだ」、「他の大学も同じ様にプログラムを行っているので問題無いはずだ」、という思い込みは危険である。

(ケーススタディ)

- 具体的な事例を使って、海外でのプログラムにおいてどのような問題が発生するかが検討された。

[事例] 大学の夏季留学プログラムで学生を5週間、シンガポールと中国に派遣した。授業料等は米国で支払い、まずシンガポールの学生用住居で生活しながら授業を受け、同時に何件か企業訪問を行う。シンガポールでのプログラム終了後は、中国でも同様に過ごす。中国での滞在期間中にはレクリエーションの一環として、派遣元

(アメリカ側)の大学担当者が先導しての万里の長城へのハイキングが予定されている。

- 注意すべき点として挙げられたのが、学生の生活する住居、万里の長城への遠足の際に万が一怪我をしたとして、それが観光エリアでは無く中国でも隔離されたエリアであれば助けは期待できないということであった。また、中国語で現地の担当者とやりとりできる職員はいるのか等の質問があった。その後 Podoll 氏から、関連する情報として、シンガポールで所得税を課されずに労働できる期間について、また、シンガポールで授業料収入等があった場合は必ず収入に関しての報告義務と課税義務が発生することが説明された。

Storytelling and Study Abroad: Enhancing the Returnee Experience (物語りと留学:帰国学生の経験の充実)

日時: 2014年5月28日(14:45-15:45)

発表者: Kelly Chroninger (Education Abroad Advisor, Virginia Commonwealth University)
Sarah Young (International Admissions Processor, Virginia Commonwealth University
Office of International Education) ほか

報告者: サンフランシスコ研究連絡センター 豊田真規子

留学から帰国した学生に留学経験を内省させ、またアメリカでの生活にスムーズに復帰させるとともに、キャンパスにおける留学への意識を高めるため、留学先での文化交流体験を語らせ (storytelling)、共有させているVirginia Commonwealth University (VCU) の事例が紹介された。

(事例1: “Globally Y’all”)

- 学生の留学や国際交流を促すため、留学から帰国した学生に、留学中の経験を他の学生の前で語らせる“Globally Y’all”というイベントを1 Semesterに1回開催している (http://www.has.vcu.edu/wld/whatsnew/2013/globally_yall.pdf)。
- カジュアルな雰囲気ではピックは定めず、学生に自由に語ってもらう。また、イベントの際にはスナックなどを提供する。
- より効果的なイベントとするために、宣伝や運営の方法を工夫する必要がある。参加者を増やす試みとして、International Studies 101を受講する学生には、イベントに参加することでエクストラクレジットが与えられることにしたが、クレジットのためだけに出席して話を聞いていない学生もいたため、参加者の動機付けにも工夫が必要。
- 留学から帰国した学生だけではなく、VCUで学ぶ留学生にも彼らの経験を語ってもらい、キャンパスの国際意識を高めるとともに、留学生のオーラルスキルの向上にも役立っている。

(事例2: Digital storytelling)

- 有志者をサポートし、留学体験と留学の良さを伝える約5分のビデオを作成、学生に留学を促す材料として使用している。
- 他大学等でDigital storytellingをはじめたい場合は、Center for Digital Storytelling (<http://storycenter.org/>)を参考にするとよい。

(Storytellingの効果)

- 語ることで、学生が自分の留学経験を分析、内省することができる。
- 大学の奨学金で留学をした学生が、大学に対して貢献する機会となる。

Creating International Internship Opportunities for Graduate and Professional Students(大学院及び専門職課程の学生を対象とした国際インターンシップの機会創出)

日時: 2014年5月29日(9:30-10:30)

発表者: Jessica Evert (Executive Director, Child Family Health Institute)

Lara Gose (Graduate Student Service Coordinator, Maurer School of Law, Indiana University)

Kathleen Lopez (Program Manager, School of Social Work, University of Michigan-Ann Arbor)

報告者:ワシントン研究連絡センター 田中旭

(国際保健分野でのインターンシッププログラム作成時に考慮すべき事項)

- インターンシップは国際保健の原則に則ったもので、責任能力を要する活動であり、かつ教育的意義を含むものである必要があり、ボランティアリズムとは区別されなければならない。
- 国際保健の分野でも知識偏重の教育から脱却して、知識、技術、判断の総合的な実践を重視する教育(Competency-Based Education)に移っている。世界で共通するコンピテンシーだけでなく、地域・地元で活用できるコンピテンシーのどちらも伸ばすことが求められる。具体的なコンピテンシーは World Health Alliance や One Health などが掲げているのでそちらを参照のこと。
- 医療従事者は倫理観を持ち合わせていなければならない。個々人のこれまでの経験に関わらず、適切な倫理観を備えるために必要な経験を積ませることが求められる。例えば謙虚であること、団結力があること、社会正義に反しないこと、内省的であることが、国際保健において求められる。

(社会福祉分野でのパートナーシップモデルとプログラムの企画・評価:University of Michigan の事例)

- フィールドワークとして実施している。10-15週間行い、8単位取得することができる。事前準備や事後のまとめを授業で付随して行う。スカラシップとして募集しており定員は6名(昨年の応募者数は160名ほど)で、国外の実習には4万ドル、国内の実習に2万ドル支給している。海外の実習先としては、オーストラリア、チリ、香港、インドなどがある。
- パートナーシップのモデルには、①大学間での交流、②インターンシッププログラム提供事業者を介したもの、③受入先機関(NGOなど)との直接の合意に基づくもの、がある。
- 大学間での交流の利点としては、継続性がある(毎年学生を送り出さなくても関係性を維持できる)ことや、互恵的關係であり、研究者間の交流につながることも期待できることなどが挙げられる。一方で、困難を伴う点としては、学事暦やカリキュラム構成が異なる(開講されている学位のレベルが学士と修士で異なるなど)ことが挙げられる。
- 事業者を介したフィールドワークの利点は、プログラムがきちんと管理されていること、何かあった際に担当者等が随時対応してくれること、安全管理も行われているなどがあるが、学生の費用がかさんだり、社会福祉分野の修士号取得者などの適当な監督者を見つけにくいことなどが課題として挙げられている。
- 受入機関との直接のやりとりでは、ユニークな機会を享受できることや現場のプロジェクトに参加して経験を積むことができるものの、学生の興味関心に依存するため毎年送り出せる保証はなく継続して行うことは難しい。また受入機関と大学との最終的な合意に至るまでの調整に時間を要する。
- Council on Social Work Education の規格・要件を参考にして、学生が社会福祉分野で求められるコンピテンシーを身につけられるようプログラムを構成している。また Education Agreement という評価シートを用いて、フィールドワークを通してコンピテンシー獲得にどれほどつながったか監督者に評価してもらっている。フィールドワークを通して何が行われるべ

きか明確になり、受入側にとっても学生にとってもフィールドワークの効果を明瞭にできる点でも有用である。

(法科大学院での国際インターンシップ支援: University of Indiana の事例)

- 7か国に 15名の学生を海外インターンシップに毎年送り出している。法律事務所(大規模なものから小規模なものまで)、NGO、営利企業、政府機関が受入先となっている。仲介業者は使用しておらず大学で全て担当している。
- 受入先から交通費や日当の支給、住居の用意がされるので、インターンの学生には金銭面での負担は発生しない。
- インターンシップに参加した学生が自身の体験を語ることは、翌年のインターンシップへ応募を考えている学生に向けての良いマーケティングツールとなっている。更にはこのインターンシップのために本学に入学したという学生も多数おり、大学の宣伝にもつながっている。
- 課題としては、受入側のニーズ(使用する言語や具体的な専門分野など)、学生側の関心・要望に応えることが難しいことがある。

グローバル化への対応

Defining the Term “Global Competency” Within Global Contexts (グローバルな文脈における「グローバル・コンピテンシー」の定義づけ)

日時: 2014年5月27日(14:30-15:45)

発表者: Shingo Ashizawa (Professor, Toyo University)

Dr. Darla Deardorff (Executive Director, AIEA / Duke University)

Kazuhiro Kudo (Assistant Professor, Dokkyo University)

報告者: ワシントン研究連絡センター 小野真莉子

米国、ヨーロッパ、オーストラリア、日本で「グローバル・コンピテンシー」がどのような意味で使われ、高等教育にどのように影響しているか、またその評価方法等について上記のプレゼンターから発表が行われた。

(グローバル・コンピテンシーとは)

- グローバル・コンピテンシーの定義は様々だが、他者の文化的規範を理解しようとする中で心を開き、そこで得られた知識を交流やコミュニケーションに活用し、その人の環境の外に効果的に働きかけることができる能力のこと。
- (米国、メキシコ、ヨーロッパ、オーストラリア、南アフリカの)国際的な高等教育界で新たに焦点化されている概念であるとともに、経済社会から最も求められる能力の一つ。
- グローバルシチズン(地球市民)に求められる知識や倫理、スキル、態度の総称。昨今は語学力のみの問題ではない。定義づけた後、具体的にどのような施策をすべきかが重要である。

(グローバル・コンピテンシーのアセスメントについて)

- 留学のマス化により、金銭的なサポートや語学教育、カウンセラー、ビザ申請等、幅広い様々なサービスが求められるようになってきている。またアセスメントは、大学ランキングやベンチマークよりも、成績評定レポートや学修成果分析等、学生を中心としたものになってきている。
- グローバル・コンピテンシーを養うための多様で実践的な機会を学生に提供することが重要であり、その評価方法とキーとなる指標を明らかにするため、ポートフォリオ及びルーブリックの概念が説明された。
- 標準化試験のスコアや海外経験・国際交流ポイント制度を用いたポートフォリオの作成等、ユニークな取組が東洋大学から紹介された。評価の手法としては、作業ポートフォリオとプロジェクトベースのポートフォリオを評価したうえで、ショーケースポートフォリオを作成することとなる。また、JSPS等から助成を受けて実施した「国際教育プログラムの質保証と学習成果分析」について紹介された。
- 唯一の解があるわけではなく、アセスメントに関する知識や経験の蓄積すら充分とは言えないので、アセスメント結果のフィードバックが必要。コースや分野、専門といったコンテキストの中での評価に集中することが必要。
- オーストラリアでは、専門教育と同様、大学において学生を社会的存在として育てることの必要性の認識が高まっている。また、留学から得られる成果として、管理された短期の研究ツアーから得られる成果と、単独実施の海外経験から得られる成果の双方があることへの認識が高まっている。

Expanding Pathways Toward Global Competence Through Faculty and Staff Exchanges (教職員の大学間交流を通じたグローバル能力の獲得)

日時: 2014年5月28日(8:45-9:45)

発表者: Joan-Anton Carbonell (Deputy Director, Kingston International, Kingston University London)

Dr. Christina Sanchez (Associate Director, Office of International Programs, University of North Carolina-Charlotte)

Mark Schaub (Chief International Officer, Padons International Center, Grand Valley State University)

報告者:ワシントン研究連絡センター 田中旭

(エラスムス計画の目的と実績)

- エラスムス計画 (European Region Action Scheme for the Mobility of University Students) では職員交流の目的として以下のことを挙げている:①各国での教育の実際、ポリシー、システムの理解を広げる、②自身の所属組織を国際化・現代化するための知力を養う、③職員の労働意欲・満足度を向上させる。
- 2011-12年の実績として13,000人の職員交流が行われた。そのうち約40%は教員・研究者で残りの約60%は事務職員等であった。

(Kingston University London の事例)

- Kingston University London (KU) ではエラスムス計画の他に、University of North Carolina-Charlotte (UNC Charlotte) と Grand Valley State University (GVSU) の2校と特別パートナーシップを提携しており、各校に3名ずつ職員を送り出している。
- この取組の狙いは、①連携する大学の教員・研究者間または事務職員間の関係を強固にすること、②互恵的なプロジェクトを実施して両大学の関係を広げること、③交換学生の数を増やすための話し合いの場を教員、事務職員ともに増やすことである。
- エラスムス計画によるものとは違い、特定の機関とパートナーシップを組むことで、協働することが増え、また協働の動機付けにもつながっている。ただ職員交流で人が行き来するだけでなく、そこから先につながる発展性がある。

(GVSU の事例)

- 活動・目的に応じた助成金を設けている。①カリキュラム編成の国際化助成;大学の施策として学部レベルのどの専攻においても、カリキュラムが Global Learning Outcomes につながるよう助成金により奨励している、②代表団派遣助成;職員をグループで派遣、パートナー校等を視察して得た知見を GVSU に持ち帰ってもらう。視察先で所属大学について説明することとなり、改めて自身の大学について学ぶ機会になり、また派遣者同士でのコミュニケーションの活性化にもつながっている。このほかに③パートナーシップ校との関係性を維持・継続するための助成や、④共同研究を行うための研究ユニットを対象とした助成を行っている。
- 代表団派遣助成として、5-6名の職員を約1週間パートナー校等へ派遣している。派遣後の成果例としては、MBAプログラムでチリへの海外留学を取り入れたり、トルコやジャマイカから客員研究員を受け入れるようになったり、また他校から代表団を受け入れる際には、当該校に派遣されたことのある職員がホストとなって積極的に動いてくれたりする、などが挙げられる。

(UNC Charlotte の事例)

- UNC Charlotte では3つの事務職員交流プログラムを持っている:①Direct one-on-one Exchange;相手校からの派遣者と同じ職種の職員が受け入れて1週間ほど交流を行い、意見交換を行ったり業務内容を追体験したりするようなプログラム(最近では危機管理担当者

の交流を行った)、②Individual with General Content Area Connections; 前述の①とは違い同一のポジションがない場合の交流プログラムで、受入側は対応する職員(業務内容や役割を基準として、複数名に及ぶこともある)が集まって交流する、③Mini-Delegation; これまでに KU から 2 度代表団を受け入れているが、さらに広くコミュニケーションを行い協働する機会を模索するために、6 名の職員を KU に派遣したプログラム。学生への支援サービスや学生のパフォーマンス評価などを中心に、お互いに学生に提供しているプログラムを視察しあって新しいアイデアの創出を狙う。

(職員交流のための外部資金源)

- 職員交流を目的とした助成制度がいくつかある: Fulbright International Educators Grants、NAFSA Professional Exchange、IAPP Study Tour、World Affairs Council Travel Advantage Program、Rotary Club など。

Guest Speaker: "Required Skill: Good Communicator" What Does it Really Mean in Today's Global Workplace? (グローバル化が進む今、求められるスキル“Good Communicator”の本当の意味とは?)

日時: 2014年5月29日(9:30-10:30)

発表者: Lorelei Carobolante (President & CEO, G2nd Systems)

報告者: ワシントン研究連絡センター 奥野篤志

職場においてもグローバル化が進む中で、自分と異なる言語や文化といった様々な背景を持った人と関わり合わなければならない。ここでは主に言語の壁についての講義が行われた。

プレゼンターである Carobolante 氏の所属する G2nd Systems は、グローバル企業に所属する英語を欧米諸国とは異なる形で使用する国の従業員を対象に、企業の戦略・目標等を正しく理解したうえで仕事に従事するためのトレーニングプログラムを提供している。

(英語のネイティブスピーカーとノンネイティブスピーカー)

- ネイティブスピーカー(以下「ネイティブ」という。)とノンネイティブスピーカー(以下「ノンネイティブ」という。)では英語を異なる形で使っている。
- ネイティブにとって英語は生活の一部。ノンネイティブにとっては単なるコミュニケーションツール。

(円滑なコミュニケーションを阻む要因)

- ノンネイティブもネイティブと同じスピードで意味が理解できている、また、同じ文化を共有しているとの思い込み。
- “Cultural Shortcut”と呼ばれるノンネイティブには理解しづらい表現の多用。

(Good Communicator の資質)

- グローバルな職場において、ネイティブとノンネイティブの割合は1対4である。
- 職場での業績は通常360度評価というものが使われる。この評価法においては、職場で何らかの関わりを持つ人全てから評価を受ける。
→職場内でどのように他人と関わっていくかは非常に重要になり、“Good Communicator”としての資質が重要となる。
- ネイティブは気づかないうちに“Cultural Shortcut”を使用するため、ネイティブの話がノンネイティブには十分に理解されていないという場合がある。

(解決策)

- あるグローバル企業で、チームリーダーにノンネイティブにも分かり易い表現を教える研修をしたところ、良い成果を挙げ、以下の様な感想が聞かれた。
 - チームとして機能するようになった。
 - (ノンネイティブの従業員に)チームの一員としての自覚が芽生えるようになり、仕事で求められることをいち早く理解してくれるようになった。
- ノンネイティブは実力があっても、そのイントネーションやアクセントが原因で有能とみなされない場合があり、それらを改善するトレーニングが非常に有効となる場合がある。

多国間連携

The New Frontier in International Collaboration: Trilateral and Multilateral Partnership (国際的共同活動における新境地: 三国間及び多国間パートナーシップ協定)

日時: 2014年5月30日(13:30-14:30)

発表者: Clare Banks (Assistant Director, International Partnerships & IIE Initiatives, Institute of International Education Communications)
James Mihelcic (University of South Florida)
Janica Mullholland (Higher Education Manager, British Council)

報告者: ワシントン研究連絡センター 奥野篤志

このセッションでは、大学等の三国間、多国間協定について講義がなされた。

(多国間協定のアドバンテージとディスアドバンテージ)

- なぜ多国間の協定を結ぶのかという質問が投げかけられ、明確なアドバンテージとディスアドバンテージとして以下のことが挙げられた。
 - アドバンテージ
 - お互いの強みをさらに補強することができる。
 - 様々な地域でのフィールドワークや研究ができる。
 - 様々な施設との間で既に構築されている連絡体制や協力関係をお互いに共有することができ、一から関係を築く手間を省ける。
 - ディスアドバンテージ
 - 多くの国の異文化、または政府に関連する問題に触れる可能性がある。

(British Council の事例)

- プレゼンターの一人である Mullholland 氏から、自身の所属機関である British Council の簡単な説明があった後、British Council で今までに取り扱った多国間の取組について説明があった。当該機関は今までに 31 のパートナーシップ協定を支援してきたが、そのうち 16 は多国間協定である。
- パートナーシップ協定による最近のプログラムと成果
 1. Coventry University-Texas University: Emergency response management
→International Risk, Resilience, and Response Center (IRRRC) の設立。国際的な人災や自然災害において、人命救助や復興への手助けとなることが期待される。
 2. University of Edinburgh-Yale University-National University of Rwanda: Strengthening Rwanda medical facility through partnership
→Edinburgh 大学が持っている国際開発省の資金を使い、ルワンダにおける緩和ケアを援助。臨床疫学及び実証的医療の分野において、ルワンダから 4 人の講師が選ばれ、Edinburgh と Yale 大学のコースを受講した。
- 最近では、Global Innovation Initiative というプログラムがある。これは、ブラジルや中国、インドとの協定が国際的に重要であるとの認識を背景として、アメリカとイギリスが共同で資金援助を行い、STEM 領域に関する協定を支援するものである。2011 年にオバマ大統領とイギリスのキャメロン首相がその必要性について言及し、2013 年 6 月に合意がなされた後、2013 年 10 月に正式に立ち上げられた。同プログラムの下、2014 年 4 月に 23 の新たな多国間パートナーシップ協定が誕生した。

(共通の課題)

- 先述したアドバンテージ以外に、多国間協定を結ぶ理由の 1 つとして「共通の課題」がある。最近では、イギリス、アメリカ、サウジアラビア間で協定が結ばれたが、これを結び付けた共通の課題は「洪水」である。この協定では、水に関するインフラの改良に関して共同で研究を行うために締結された。

(国際的な協定の意義)

- 極めて重要な科学、工学の問題を解決するために必要。
- 若手研究者に異なる国、文化の研究者とチームで研究を行わせたり、他国で学ばせることができる。

高等教育の価値・質保証

Guest Speaker: The Future of Higher Education (高等教育の未来)

日時: 2014年5月28日(8:45-9:45)

発表者: Jeffrey Selingo (Contributing Editor, The Chronicle of Higher Education)

報告者: ワシントン研究連絡センター 小野真莉子

米国の大学に対する公的資金が減り続け、将来的に学生数の減少を迎える中で、これまでの伝統的な大学教育の在り方とは違う、非伝統的方法による大学教育への関心や、大学教育の価値とは何かを見直す動きが広がっている。このような状況について、上記のゲストスピーカーから高等教育の未来についての講義が行われた。

(米国高等教育の現状)

- 技術や交通が発達した結果、州や国の距離に関わらずに大学を選べるようになった。その結果、この50年で大学入学者が増加したにも関わらず、50%の大学において志願率が低下する事態となった。
- このままいくと今後10-15年で、あらゆるランク層の下位25%の大学が消えることとなる。
- ボーダーレス化により、出版界ではレコード屋や本屋が潰れ、アマゾンが発達し、多くの者が新聞もスマートフォンで読むようになった。これと同様の変化が教育界においても起こっており、次の数十年でさらなる変化に直面することになる。
- 中流家庭の家計に占める授業料の割合が、平均42.4%を占めており、その割合は年々上がっている。その一方で年間400万人が大学を中退している。

(非伝統的な大学(新しいモデル)とは)

- 学生が多様化し、大学教育に求めるものが過大に、かつ多様になっている。入学してくる学生の動機づけが全く異なるので、大学は一つのセグメントを満たすだけでは生き残れず、学部教育、成人向けコース、社会経験の段階等に応じた様々な教育を提供する必要がある。
- アメリカ人は平均で4年ごとに仕事を変える。キャリアも変わり、仕事内容も変わっていくため、トレーニングし続けることが必要。このため従来の、18歳で大学に入学→卒業→就職→退職ではなく、働きながら勉強し、職場内でのトレーニングを受けつつ、またその後に大学に戻って勉強し、といったことを繰り返す形が職業人のスタンダードになるだろう。
- 通学コースと通信コース、といった区分ではなく、個人が対面授業とオンライン授業をハイブリッドに組み合わせてとれるようなコースの増加。
- 学生が具体的に習得したい知識等をベースに開発したプログラムを提供するコンピテンシ基盤型教育の推進、増加(最短2週間から最長14週間程度)。

最後に、これからの大学が競争に打ち勝っていくためには、単なる専攻に所属しての学びではなく、解決すべき課題に着目した学びを提供すること、強固なアカデミック同盟を作ること、また、大学で経験できることや得られるスキルを見える化することが重要との説明があった。

Outcome Assessment: US And International Perspectives (アウトカム・アセスメント:米国、豪州、欧州の視点)

日時: 2014年5月28日(13:15-14:15)

発表者: Betty Leak, EdD (La Trobe University)
Hanneke Teekens (NUFFIC: Netherlands Organization for International Cooperation in Higher Education)
Rhiannon Delyth Williams, PhD (University of Minnesota)

報告者: サンフランシスコ研究連絡センター 渡邊千尋

各国の高等教育機関では、共通して、全世界的に通用するラーニングアウトカムズが重要であるとされており、そのアセスメントも重要視しているが、アセスメントの考え方は国によって異なる。このセッションでは、米国、欧州、及び豪州の高等教育機関における、アウトカムアセスメントを行う動機付け、アセスメントの推進を支えるもの、及び、アセスメント推進にかかる課題についてそれぞれ報告がなされた。

(米国のアプローチ)

- アウトカムアセスメントを行う動機付け
 - 外的要因: 授業料の値上げ等大学での学びにかかるコストが上昇する中、学位を取得する意義は何か、学生が大学で何を学び何を身に付けたのか、を社会に対して明確にすることを求められていること。適格認定 (accreditation) を受ける際も、ラーニングアウトカムズや国際化の度合いについて評価が行われることも要因のひとつ。
 - 内的要因: キャンパスの国際化を強力に推進しようとする各大学の強い意志。就職の準備として、学生に十分な知識・能力を身につけさせる必要があること。他大学との差別化・競争に対応する必要があること、等。
- アウトカムアセスメントの推進を支えるもの
 - 学問分野ごとにアウトカムアセスメントに関する対外的・対内的な説明責任についての認識が浸透していること、アセスメントが大学の文化となっていること、アセスメントは学術的な調査とみなされていること、全世界的に通用するラーニングアウトカムは大学の卓越性を裏付けるものであると認識されていること、及び、それを支える教職員の強いリーダーシップが存在すること、等。
- 大学がアウトカムアセスメントを推進するにあたり直面している課題
 - 分権化の強い大学組織、教員の高い自律性、2年制・4年制・研究重視型・教育重視型等、大学の多様な役割や機能の違い、建学の歴史から来るミッションの違い、アセスメントに対する考え方の違い、等。
 - 大学で学ぶ学生が多様(幅広い年齢層)であり、転入・転学が盛んであることから1人の学生が学ぶ大学が複数となっていること、等。

(豪州のアプローチ)

- アウトカムアセスメントを行う動機付け
 - 外的要因(外的要因が主):
国により行われる教育・学修に関する質評価、また、豪州内外での高等教育のブランディング「オーストラリアブランド」の確立、国内外での労働市場で通用するスキルが求められていること、等。
- アウトカムアセスメントの推進を支えるもの
 - アセスメントに関する国家的な枠組み (Australian Qualification Framework (AQF))、高等教育の質・水準・認証に関する組織 (Tertiary Education Quality and Standards

Agency (TEQSA)、大学の地域的・全国的・国際的な連携、等。これらにより学生のラーニングアウトカムが説明可能となっている。

- 全ての大学において、学生が修得すべき知識・能力が明確にされていること。そこにはグローバルで国際的/異文化理解的であるものが含まれており、その定義付けはプログラムレベルで行われている。
- 国内外のネットワークから受ける強力な支援、分野内外の分散型のリーダーシップ、豪州政府による教育・学修の国際化に対する研究支援、等。

(欧州のアプローチ)

- アウトカムアセスメントを行う動機付け
 - 外的要因: ボローニャプロセスによる欧州の高等教育の統合の必要性。オランダ等いくつかの国においては、グローバルコンピテンスが適格認定の要件の一つになっており、公的機関からの資金を受けるにあたり基準を満たしておく必要があること。
 - 内的要因: 各大学における教育・学修の改善の必要性、優秀な学生を引きつけるため、全世界的に適切と判断されるカリキュラムが必要であること、それらの結果としてのよりよい研究成果の創出、それらの努力を行った大学は結果として多くの資金を獲得できること、等。
- アウトカムアセスメントの推進を支えるもの
 - ボローニャプロセス。この中では、透明性(transparency)、文化を越えた適切性(relevance)、国境を越えた流動性(transferability)を担保するためにラーニングアウトカムズを明確にすることが重要とされている。
- 大学がアウトカムアセスメントを推進するにあたり直面している課題
 - 多様なステークホルダーへの対応、国境を越えて通用する「グローバルコンピテンス」の確立、アウトカムに関する学生と企業との異なる見解、各国で異なる研究の慣習や大学院レベルの研究、クリティカルシンキングの捉え方の違い、母語の違い、異文化間でのコンピテンスの定義、等、多岐にわたる。
- このような課題があるものの、欧州においては、グローバルコンピテンスはグローバルな状況でのみ育つという共通認識の下、共同学習プログラムやグローバルコンピテンスに関する共通の理解のための学習プログラムが導入され、超国家的な努力と各国・地域における努力によりアウトカムアセスメントが推進されている。



セッションの様子

カリフォルニア

The California Dream: Innovation, Discovery, and Access in California (カリフォルニアドリーム: カリフォルニアにおけるイノベーション、創成、高等教育へのアクセス)

日時: 2014年5月28日(8:45-9:45)

発表者: Leo Van Cleve (Dean, International and Summer Programs, The California State University) など

報告者: サンフランシスコ研究連絡センター 高橋洋平

(カリフォルニアマスタープラン)

- 1960年のカリフォルニア高等教育マスタープランにて、カリフォルニアの優れた公教育の基礎となる理念が掲げられた。教育の質保証と機会均等を実現することを大きな目標に、そのための具体策として、UC(カリフォルニア大学)、CSU(カリフォルニア州立大学)、CCC(カリフォルニアコミュニティカレッジ)のそれぞれに強みを持たせつつセグメント化し、大学間の転入ができる枠組みとした。もって世界に名立たる一貫性のある公立高等教育システムを築き上げた。
- UCは研究が中心でメディカルスクールやロースクールを持ち、CSUは教育・研究が中心、CCCは4年制大学への編入と職業教育中心と、3層に差別化しているところ。

(カリフォルニア州立大学)

- 学生 446,530 人、教職員 45,460 人、23 キャンパス、予算 43 億ドル。
- カリフォルニアにおいて高校の成績がトップ 3 分の 1 の学生であれば CSU のどこかのキャンパスに入学できる。また CCC の優秀な学生も編入生として受け入れる。
- CSU にて取得できる学位は基本的には修士号までで、取得できる博士号は教育、看護等に限定されている。
- キャンパスは南のサンディエゴから北のフンボルトまで、古くはサンノゼ州立大(1857年)から最も新しいチャネルアイランド(2002年)まで。大きさも 1,000 人規模から、30,000 人規模まで。
- CSU のミッションは、質の高い高等教育に誰もアクセスできるよう提供することによって、カリフォルニアの繁栄とダイバーシティに貢献すること。教育中心の大学といえる。
- 学部学生の平均年齢は 23 歳、35% が家族の中で高等教育を初めて受けた世代 (First Generation) である。4 人のうち 3 人が何らかの仕事を持ち、約 4 分の 1 が扶養家族を持っている。
- 学部学生が 87.7%、大学院学生が 12.3%、男性が 43.7%、女性が 56.3%。学生のうちヒスパニックの比率(33.4%)が、白人の比率(29.1%)を超える。アジア系は 17.0%、黒人は 4.6% である。
- 2012-2013 の授与学位 101,209 のうち、学士が 80.9%、修士が 18.8%、博士が 0.3% となっている。1,800 を超える学士及び修士のプログラムを設定している。これはカリフォルニアの学士プログラムの半分を、修士プログラムの 3 分の 1 をも占める。
- CSU は、1 年間に 100,000 人もの学生を、労働市場に輩出している。

(カリフォルニア州立大学の留学(派遣及び受入)について)

- IIE(国際教育協会)の OPEN DOORS によれば、CSU は長期の海外留学(派遣)者数が全米第 1、2 位の機関である(第 1 位: サンフランシスコ州立大、第 2 位: カリフォルニア州立大チコ校)。長短期併せた多様な期間の海外留学(派遣)数トップ 20 校のうち 6 校は CSU の各校である。また、留学生の受入数としては、修士号授与機関を対象としたランキングにおいて、トップ 5 のうち 4 校を、トップ 20 のうち 7 校を CSU の各校が占めている。
- ビザを保持している学生は 19,801 人であり、全体の学生に占める割合は 4.5% である。

- 留学生(受入)の出身国のトップ 10 は、中国、インド、サウジアラビア、韓国、ベトナム、日本、台湾、クウェート、香港、インドネシアとなっており、アジア及び中東によってほとんどが占められている。
- CSU から海外に留学する学生は、約 6,500 人(学部学生の約 8%)、70 か国に散らばっている。
- 海外留学(派遣)先のトップ 10 は、スペイン、イギリス、メキシコ、イタリア、中国、フランス、オーストラリア、日本、コスタリカ、ドイツの順となっており、ヨーロッパ諸国が人気である。



ラテンアメリカ

Building Strong Partnerships with Latin Americas (ラテンアメリカとの強力なパートナーシップを築く)

日時: 2014年5月26日(13:30-15:30)

発表者: Francisco Marmolejo (Tertiary Education Coordinator, Education, Human Development Network, The World Bank)

Suresh Garimella (Chief Global Affairs Officer, Purdue University)

Luiz Valcov Loureiro (Executive Director, Fulbright Brazil) など

報告者: サンフランシスコ研究連絡センター 高橋洋平

セミナー前半にはラテンアメリカに関する包括的な説明、後半には各国ごとの小グループに分かれてのディスカッションとなった。250名規模の会場は満席で、アメリカにとっての中南米への関心の高さが伺われる。

(ラテンアメリカの概要) Francisco Marmolejo 氏

- ラテンアメリカに対するステレオタイプな見方として、「途上国」、「アメリカの農園」といったものがあるが、そこからは脱却すべき。近年では世界における主要なプレーヤーとなりつつあるし、教育・研究も勃興している。
- ラテンアメリカには30か国があり、地球の陸地の16%を占める。人口は5億8千人(世界の9%)であり、0-14歳人口が28%を占める。
- GNPは約5.3兆ドルで、アメリカの約3分の1に相当する。人口当たりのGDPではほぼ世界平均に届きつつあるが、アメリカとは差がある。
- 2014年の経済成長率は2.9%が予測され、輸出、キャピタルフロー等の各種経済指標は軒並み上向き。一方で、依然として地域間の格差は明白である上に、一つの街の中でさえ高級マンションとスラムが隣り合っていることも珍しくない。
- 高等教育における主な課題は、①機会の均等、②教育の質の維持・向上、③高等教育への需要と供給のマッチングである。

(ブラジルの大学と連携するために) Luiz Valcov Loureiro 氏

- ブラジルの大学はかなり多様であり、どのような大学と連携したいのかを明らかにすることが第一歩。公立大学は約25%で、連邦または州政府から出資を受けており、授業料はフリーで、研究重視の傾向がある。私立は75%で、このうち営利大学が半分、非営利大学が半分程度である。大きい大学か小さい大学か、伝統的か新進気鋭か、出資は連邦か、州か、ローカルレベルかなど多様。キリスト教の大学も多い上に、強い分野も様々。
- 25州がそれぞれ研究資金を持っている。近年、学部学生向けに流動性を高めるための助成も新たに始めてきている。特にサンパウロ州は大学や研究資金が集中している。
- 連携に向けた主なハードルは、コストと言語(ポルトガル語)。英語圏に留学する学生に対しては18か月の政府出資の英語プログラムを始めているところ。
- 年間11,000人の博士号を出しており、これはラテンアメリカの半分以上を占める。
- 国境なき科学計画(Science Without Borders)が始まって全世界にブラジル人学生が留学しているものの、次なる計画は政治的に未定。
- アメリカがブラジル人留学生をよく獲得できている理由としては、もとよりダイバーシティが備わっていることと、アメリカ政府の支援が得られること。また、スペイン語を習得している米国人にとって、ポルトガル語への変換は比較的容易であること(数か月で可能)などが考えられる。
- ブラジルのカレッジでは、3年程度のプログラムで学士と修士の中間の学位が取れる場合もある。

※Suresh Garimella 氏によるパデュー大学と南米コロンビアとの連携の話は割愛。



※会場は立ち見が出るほど盛況



※チリやメキシコなど中南米各国のブースも盛況

Brazil: Everything You Need to Know (ブラジルについて知るべきことのすべて)

日時: 2014年5月27日(14:30-15:45)

発表者: Samir Zaveri (President & CEO, BMI)

Areta Galat (Head of the International Office and the Coordinator of Science without Borders at FAE Curitiba)

Rita Louback (Dean of International Programs at PUC Minas)

報告者: サンフランシスコ研究連絡センター 高橋洋平

(ブラジルの概要)

- GDPにして世界7番目(ラテンアメリカ最大)、人口1億9,650万人、4つの州で50%の人口を占める(大都市集中)。
- 文化・社会はダイバーシティそのもの。日系人の世界最大のコミュニティがある。
- ブラジルの大学院及び研究開発システムはラテンアメリカで最も大きい。例をあげれば、メキシコの4倍の特許件数、研究開発支出の対GDP比はラテンアメリカで唯一1%を超える、ラテンアメリカのすべての論文のうち62%を占めるなど。

(ブラジルの大学)

- ブラジルの大学は、公立と私立営利、私立非営利の3つに分類され、2,416大学のうち2,112大学が私立。現在、全国民の17%が後期中等教育機関を卒業している。
- 200を超えるブラジルの大学がFAUBIという大学の国際化を進める連盟に加入している。この団体は設立25周年を迎えたものであり実績がある。

(ブラジルの研究)

- 科学技術省所管のCNPq(科学技術発展委員会)と、教育省所管のCAPES(大学院教育評価及び支援機構)の設置以降、大学及び研究所の評価や質の保証が進んできている。
- 特に強い研究分野は農学、鉱学、航空、太陽光、バイオ燃料など。石油採掘、農業科学、航空工学の3分野では、世界をリードしていると思われる。

(ブラジルの留学生と国境なき科学計画)

- BMI(ブラジルの留学エージェント)調べによると、2012年に海外で勉強する経験を得たブラジル人学生は365,000人。British Councilの調べによれば、ブラジルから海外への留学生は2004年の42,000人から、2010年には160,000人に達しており、急激な上昇が見られる。
- 国境なき科学計画(Science Without Borders)は2011年に現在のルセフ大統領によって開始してから、3年間で101,000人の奨学を予定している。以下のウェブサイトで派遣先やデータ等を検索できる(世界21か国)。
<http://www.cienciasemfronteiras.gov.br/web/csf/bolsistas-pelo-mundo#>
- 国境なき科学計画の当初の課題としては、PhDを増やすこと、国際共同研究を増やすこと、特許件数を増やすこと、学术界と経済界の相互作用を活性化することであり、おおむね達成されてきている。次なる課題として、国内の研究開発の国際化を図ること、高い競争力と起業家精神を持った学生を育成すること、国際的な若手研究者をブラジルに引き寄せることがある。
- 国境なき科学計画で送り出した学生は、平均年齢26.7歳、TOEFLスコアは平均98.1、男性が61.4%。分野は工学等が23.3%、情報科学技術が17.3%、医学が13.5%など、ほとんどが自然科学である。

(なぜブラジルにおいて留学の需要が大きくなっているのか)

- British Council 調べによると、2006年から2010年の間に、ブラジル国民の教育にかける支出は133%上昇している。社会が豊かになり、質のよい高等教育への需要が、国内の供給量を超えるようになってきている。
- 公立の研究大学は授業料が無料であることもあり最も人気があるが、入学するためには優れた私立高校に入学するのが事実上必須となっている。近年の経済成長に伴い、中間層が授業料の高い私立高校に流れてきている。授業料が年間2万ドルを超える私立高校も珍しくない一方で、私立大学の学費は1万ドルを超えない程度であり、ねじれが存在している(MBAプログラムでも2万ドル程度)。
- 留学経験がある者の方がよい職につけ、労働需要も多い。国境なき科学計画など、ブラジル政府の奨学金プログラムが充実してきているのも、この一因である。



※セミナーの様子



※セッション後、ブラジルの研究大学(サンパウロ州立大学、カンピーナス大学、リオデジャネイロ連邦大学等)に対して JSPS フェローシップ紹介の活動

(参考資料) NAFSA 2014 Conference Daily Schedule

Saturday, May 24, 2014

Time	Type	Event
4:30 p.m. - 7:30 p.m.		Conference Registration

Sunday, May 25, 2014

Time	Type	Event
7:00 a.m. - 5:30 p.m.		Conference Registration
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Best Practices for Curriculum Integration of Education Abroad
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	A Primer on U.S. Higher Education
8:00 a.m. - 5:00 p.m.		Management Development Program (Day 1)
8:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Education Abroad Advising (Day 1)
8:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Fundamentals of Short-Term Education Abroad Programming
8:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Managing the Education Abroad Office (Day 1)
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	Basics of Effective U.S. International Admissions
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	F-1 Student Advising for Beginners
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	F-1 Student Advising: Intermediate
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	J-1 Advising for Beginners
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	J-1 Advising: Intermediate
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	Nonresident Alien Tax: What International Educators Should Know
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	Pathways to Permanent Residency
9:00 a.m. - 5:00 p.m.		Innovating and Scaling Up U.S.-Latin America Exchange: The 100,000 Strong in the Americas Workshop (Day 1)
9:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Pathways to Intercultural Competence in International Education
1:00 p.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Assessing Student Learning Outcomes of Curriculum Internationalization
1:00 p.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Developing Strategic and Sustainable Linkages with U.S. Institutions

1:00 p.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Managing a Changing Landscape: Leadership, Professionalization, and Advocacy in Education Abroad
-----------------------	-----------	--

Monday, May 26, 2014

Time	Type	Event
7:00 a.m. - 6:00 p.m.		Knowledge Community Networking Centers
7:00 a.m. - 7:00 p.m.		Conference Registration
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Education Abroad Advising (Day 2)
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Engaging International Alumni: A Pathway to Your Institution's Global Competence
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Getting Started with International Enrollment Management: Recruitment and Beyond
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	An Introduction to Higher Education and Partnership Opportunities in Europe
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Managing the Education Abroad Office (Day 2)
8:00 a.m. - 5:00 p.m.		Management Development Program (Day 2)
8:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Campus and Community Programming
8:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Developing Basic Research Skills to Strengthen International Education Practices
8:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Fundamentals of Intercultural Communication
8:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Health, Safety, and Risk Management in Education Abroad
8:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Strategies for International Student and Scholar Advising
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	Basics of Filing Academic H-1B Petitions
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	F-1 Student Advising for Beginners
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	F-1 Student Advising: Intermediate
8:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Foreign Educational Credentials Analysis
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	J-1 Advising for Beginners
8:00 a.m. - 6:00 p.m.	Workshops	J-1 Advising: Intermediate
8:00 a.m. - 5:15 p.m.		Join NAFSA and University Risk Management and Insurance Association (URMIA) Seminar (Day 1)
9:00 a.m. - 12:00 p.m.		Innovating and Scaling Up U.S.-Latin America Exchange: The 100,000 Strong in the Americas Workshop (Day 2)

9:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Advanced Immigration Issues for Academic Medical Institutions
9:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Beyond Management: Leadership for Comprehensive Internationalization
9:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Brand Strategy and Effective Recruitment Practices
9:00 a.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Facilitating Intercultural Understanding Through Experiential Learning
10:00 a.m. - 12:00 p.m.	Open Meetings	Orientation for Participants Based Outside of the United States
12:00 p.m. - 6:30 p.m.		NAFSA Bookstore
1:00 p.m. - 5:00 p.m.	Workshops	From Strategy to Reality: Aligning International Partnerships with Institutional Priorities
1:00 p.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Recruiting and Retaining Sponsored Students from the Middle East and North Africa
1:00 p.m. - 5:00 p.m.	Workshops	Solutions for Recruiting, Admitting, and Enrolling Students from China
1:30 p.m. - 3:30 p.m.	Seminar	The Latin America Forum: Building Strong Partnerships
4:00 p.m. - 5:00 p.m.	Open Meetings	First-Timers Speed Networking
5:00 p.m. - 6:00 p.m.	Open Meetings	Welcome Orientation for Students
5:00 p.m. - 7:00 p.m.	Special Events	Knowledge Community (KC) Networking Receptions

Tuesday, May 27, 2014

Time	Type	Event
7:00 a.m. - 6:00 p.m.		Conference Registration
7:00 a.m. - 6:00 p.m.		Knowledge Community Networking Centers
7:30 a.m. - 12:30 p.m.		Symposium on Leadership
7:45 a.m. - 12:00 p.m.		Join NAFSA and University Risk Management and Insurance Association (URMIA) Seminar (Day 2)
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Open Meetings	Student and Mentor Meeting
8:00 a.m. - 12:00 p.m.		Management Development Program (Day 3)
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	The ABCs of Visa Acquisitions: What Students and Scholars Experience at a U.S. Consulate
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Addressing Student Mental Health in Education Abroad: Good Practices
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Basic Immigration Concepts for Professionals Outside of International Student Advising

8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Best Practices in Selecting, Managing, and Motivating Student Recruitment Agents
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Crisis Management for the International Student and Scholar Office
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Foreign Educational Credentials Analysis (Day 2)
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Internationalizing the Curriculum: A Comprehensive Approach
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Port of Entry: San Ysidro Tour
8:00 a.m. - 12:00 p.m.	Workshops	Understanding the Prevailing Wage Process and Protocols for H-1B and PERM in an Academic Setting
8:00 a.m. - 4:00 p.m.		NAFSA Bookstore
8:30 a.m. - 8:45 a.m.		International Education Expo Opening Ceremony
8:30 a.m. - 3:30 p.m.		Expo Hall
8:30 a.m. - 3:30 p.m.		NAFSA Career Center
9:00 a.m. - 3:30 p.m.	Special Events	Colloquium on Internationalizing Business Education
9:00 a.m. - 3:30 p.m.	Special Events	Colloquium on Internationalizing Education for the Health Professions
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	First-Timers Orientation
10:00 a.m. - 10:45 a.m.	Open Meetings	Now What? A Mid-Career Discussion
11:00 a.m. - 11:45 a.m.	Open Meetings	Tips to Make Yourself a Stronger Candidate
11:15 a.m. - 12:15 p.m.	Open Meetings	Education Abroad Newcomers
11:30 a.m. - 12:15 p.m.	Open Meetings	International Enrollment Management Knowledge Community Update
11:30 a.m. - 12:30 p.m.	Open Meetings	Tips for Newcomers to the International Student and Scholar Services Community
11:30 a.m. - 1:30 p.m.		Express Lunch
12:00 p.m. - 12:45 p.m.	Open Meetings	Want to Move into Management? An Open Discussion to Gauge Your Readiness
12:30 p.m. - 1:00 p.m.	Open Meetings	Tweetup
1:00 p.m. - 2:00 p.m.	Global Partner Sessions	English Proficiency 101: Are You Setting the Right IELTS English Language Requirements?
1:00 p.m. - 2:00 p.m.	Global Partner Sessions	The Importance of English and Cultural Proficiency in Effective Campus Internationalization
1:00 p.m. - 3:30 p.m.	Poster Fairs	U.S. Higher Education Partnership Fair

1:15 p.m. - 2:00 p.m.	Open Meetings	Education Abroad Knowledge Community Update
1:15 p.m. - 2:00 p.m.	Open Meetings	International Student and Scholar Services Knowledge Community Update
1:15 p.m. - 2:00 p.m.	Open Meetings	Teaching, Learning, and Scholarship Knowledge Community Update
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Open Meetings	New Senior International Officers
2:00 p.m. - 2:45 p.m.	Open Meetings	Linking Education Abroad and Student Career Development: Effective Advising Practices
2:15 p.m. - 2:45 p.m.		Refreshment Break
2:30 p.m. - 3:30 p.m.	Open Meetings	An Exchange of Ideas: English Conversation Programs
2:30 p.m. - 3:30 p.m.	Open Meetings	Internationalizing Our Classrooms Roundtable
2:30 p.m. - 3:30 p.m.	Open Meetings	Managing Remote Staff
2:30 p.m. - 3:30 p.m.	Open Meetings	Senior Internationalization Officers from Faith-Based Institutions
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Global Partner Sessions	Brazil: Everything You Need to Know
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Global Partner Sessions	Leverage Student Mobility Trends and Use Data to Maximize International Recruitment Campaign Results
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Guest Speaker: Carl Hobert Raising Global IQ: Preparing Our Students for a Shrinking Planet
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	2020: Strategic Marketing Within International Enrollment Management
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Defining the Term "Global Competency" Within Global Contexts
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Developing Competencies of Exchange Students Through Engaging Global Student Communities
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Education Abroad Funding: Available and Accessible
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Graduate Student Global Experience and Expectations: Examining the Data
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	The Impact of Consortia on Large Public Institutions' Internationalization Strategy
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Innovative Education Programs: Exciting Opportunities or Unseen Barriers for Sponsored Students
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Intersections of Race and Culture Among Domestic and International Students
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	The New Education Landscapes in Argentina, Colombia, and Mexico: Expansion and Reform
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Risk Management and Support Services for Overseas Programs
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	The Senior International Officer and the ISSS Director: From Strategy to Success

2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Short-Term Programs Preparing Underrepresented STEM Students for International Education
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Strategic Planning for Campus Internationalization: Purposes, Components, Challenges, and Outcomes
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Strategies and Resources: Addressing Visa Acquisition Issues at a U.S. Consulate
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	U.S. Federal Law and Same Sex Marriage: Immigration Advising Post-Defense of Marriage Act
2:30 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Workplace Satisfaction Gets Real
3:00 p.m. - 3:45 p.m.	Open Meetings	Building Your Career Through NAFSA Leadership
4:00 p.m. - 5:30 p.m.	Plenary Sessions	Opening Plenary Address: Anna Deavere Smith
5:30 p.m. - 8:00 p.m.	Special Events	Opening Celebration on the Bay

Wednesday, May 28, 2014

Time	Type	Event
7:00 a.m. - 5:30 p.m.		Conference Registration
7:00 a.m. - 6:00 p.m.		Knowledge Community Networking Centers
8:00 a.m. - 8:45 a.m.	Open Meetings	NAFSA Annual Business Meeting and International Education Video Celebration
8:30 a.m. - 10:00 a.m.	Poster Fairs	Enhancing Learning Before, During, and After Education Abroad Professional Development for International Educators Work, Internship, and Volunteer Abroad
8:30 a.m. - 5:30 p.m.		NAFSA Bookstore
8:30 a.m. - 5:00 p.m.		Expo Hall
8:30 a.m. - 5:00 p.m.		NAFSA Career Center
8:45 a.m. - 9:30 a.m.		International Education Leadership Knowledge Community Update
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Member Interest Groups	Christian
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Member Interest Groups	Community College
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Member Interest Groups	Creative Industries

8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Member Interest Groups	Embassy Dialogue Committee on Education
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Member Interest Groups	Francophone World
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Member Interest Groups	Healthcare Institutions
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Member Interest Groups	Intensive English Programs
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Open Meetings	Build Connections with Fulbright
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Open Meetings	A Critical Dialogue on our Work as International Educators
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Open Meetings	Leading the Way: Q&A Session for Newly Appointed ISSS Directors
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Open Meetings	State Consortia and International Recruitment Strategy
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Global Partner Sessions	The California Dream: Innovation, Discovery, and Access in California
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Global Partner Sessions	Looking Ahead: Utilizing the United Kingdom's Expertise in Agent Relationships to Map a Course for the United States
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Guest Speaker: Jeff Selingo The Future of Higher Education
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	21st Century Skills and the Workplace: Challenges for Education Abroad Professionals
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Achieving Equity in International Education Through Campus Collaboration
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Developing Effective Online Communications for International Student and Scholar Advising
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Expanding Pathways Toward Global Competence Through Faculty and Staff Exchanges
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Findings from the Education Abroad Risk Management State of the Field Survey
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Implementing a Global Engagement Framework in a Rural, Two-Year Institution
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Internationalization in Mexico During Times of Crisis
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Mentoring and Mobility Strategies for STEM Students
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	The Middle East in Challenging Times: Implementing and Sustaining Programs
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Overview of the Two-Year Home Residency Requirement for J-1 Students and Scholars
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Sharing Stories from the International Education Trenches

8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	A Systems Approach to Maximizing Efficiency in International Enrollment Management
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Using Cultural Analysis for Predicting and Handling Cross-Cultural Misunderstandings
8:45 a.m. - 9:45 a.m.	Sessions	Using Social Media as a Successful Recruitment Strategy in China
9:00 a.m. - 9:45 a.m.	Open Meetings	How Can I Ever Afford to Retire?
9:00 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	I-Engage Talks
9:00 a.m. - 3:30 p.m.	Special Events	Colloquium on Internationalizing Legal Education
9:00 a.m. - 3:30 p.m.	Special Events	Colloquium on Internationalizing Teacher Education (Day 1)
9:45 a.m. - 10:15 a.m.		Coffee Break
10:00 a.m. - 10:45 a.m.	Open Meetings	Preparing for a Position as a Senior Leader in International Education
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Member Interest Groups	Black & Multicultural Professionals in International Education
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Member Interest Groups	Foreign Born International Educators
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Member Interest Groups	Middle East
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Member Interest Groups	Peace, Justice, & Citizen Diplomacy
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Member Interest Groups	Sponsored Program Administration
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Member Interest Groups	Sustainability
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Open Meetings	Credential Doctor Clinic I
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Open Meetings	Joint IEL/TLS Roundtable on Model Practices to Promote Faculty and Scholar Mobility
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Open Meetings	Open Dialogue on Financing Education Abroad
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Open Meetings	Technology Forum
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Open Meetings	Using your Office of General Counsel as a Valuable Resource
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Global Partner Sessions	Fifty Years of Study Abroad: Building for the Future on a Strong Foundation

10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Global Partner Sessions	Using English Proficiency Scores Effectively in the Admission Process
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	Guest Speaker: Elisabeth Mermann-Jozwiak Crossing Borders: Transnationalism and Global Competencies
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	Collaboration Between Study Abroad and Health Professions Schools: Challenges and Opportunities
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	Cultivating U.S.-Korea International Education Connections
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	The Education Abroad Director and the Senior International Officer (SIO): Bridging the Gap
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	Everyone is a Communicator: Shared Responsibilities Through a Strategic Communications Plan
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	The Fostering of Global Competence in Latin American Students
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	How to Work with Chinese Universities to Develop Study-in-China Programs
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	International Enrollment Management and Intensive English Programs
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	International Student Retention Research: Results and Practical Implications
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	International Travel Grants: Strategies to Deepen Campus Internationalization
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	Internationalization in North America: International Association of Universities Survey Results
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	Mentoring in International Education: Strategies for Success
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	Navigating a Different Path: Advising International Students with Disabilities
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	Navigating Sub-Saharan Africa: Little-Known Facts and Endless Possibilities
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	Regional Trends and Issues in Global Competence Pathways and International Higher Education
10:15 a.m. - 11:15 a.m.	Sessions	SEVIS Hot Topics Part I: Discussion with SEVP Representatives
11:00 a.m. - 11:45 a.m.	Open Meetings	Careers in the International Enrollment Management Knowledge Community
11:15 a.m. - 12:45 p.m.	Poster Fairs	Best Practices in International Enrollment Management Enrolling More Sponsored Students at Your Institution Innovative and Sustainable Practices in Intensive English Programming
11:30 a.m. - 1:30 p.m.		Express Lunch
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Open Meetings	Graduate Student Roundtable on Research
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Open Meetings	Identifying and Implementing a Customer Relationship Management (CRM) system
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Open Meetings	Non-Credit Programs: Navigating Health, Safety, and Liability

11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Open Meetings	Senior International Officers from Senior Military Colleges and Academies
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Global Partner Sessions	Hong Kong: New Initiatives in Internationalization and Engagement with Mainland China
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Global Partner Sessions	Unlocking Access to Deeper Learning: A Unique Global Partnership Between Academia and Technology
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Benefits of Fulbright International Education Administrator Seminars: Perspectives from a Japan Cohort
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Developing Successful Program Models for Internships Abroad
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Education Abroad: Model of Reciprocity or Resource Drain?
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Enhancing Employer Awareness and Value of International Education Professionals in Canada
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Eurasia and Central Asia: Understanding and Recruiting the Post-Cold War Generation
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	How Global is the United States?
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	International Student Adviser Perspectives: Can a Crisis Truly Be Managed?
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Internationalization with Integrity: Modeling a New Approach
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	A New Era of Student/Academic Mobility Between Mexico and the United States
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Representing International Students in the U.S. Media: Advocating for Better Practices
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	SEVIS Hot Topics Part II: Resources and Tools to Navigate the SEVIS Waters
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Teaching with Reflection to Develop Global Competence
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Virtual Study Abroad: The University Classroom as a Pathway to Peace
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	When Non-U.S. Students Study Abroad: Collaborations Between Study Abroad and ISSS Staff and Faculty
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	When the Application Includes an Audition or Portfolio: Arts Admissions for International Students
11:45 a.m. - 12:45 p.m.	Sessions	Where Will the New Global Gender Parity in Students Lead?
12:00 p.m. - 1:30 p.m.	Special Events	Historically Black Colleges and Universities and Black/Multicultural Professionals in International Education Luncheon
12:00 p.m. - 12:45 p.m.	Open Meetings	How to Create an Entrepreneurial Career in International Education
1:00 p.m. - 1:45 p.m.	Open Meetings	Tips to Help You Land Your Dream Job
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Open Meetings	Assessment and Evaluation Roundtable
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Open Meetings	Education Abroad Speed Networking for Mid-Career Professionals

1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Open Meetings	Intensive English Programs: Dialogue of Current Trends
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Open Meetings	Senior International Officers from Comprehensive Institutions
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Open Meetings	U.S. Regulatory Roundtable Discussion: F-1 Regulations
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Global Partner Sessions	Prepare Students for GRE® Success! New Tools and Proven Strategies from the Test-Maker
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Global Partner Sessions	Turkey: Bridging Continents Through Education
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Guest Speaker: Mary Walshok How to Better Articulate the Community Benefits of International Education
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Best Practices in Effectively Managing Social Media for Education Abroad
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Community College and University Partnerships: Promoting International Student Success
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Considerations for Adopting Enhanced Institutional Health and Safety Standards in Education Abroad
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Creating Global Competence Using Technology and Synergetic Pedagogical Methods in Study Abroad
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Erasmus+ and Horizon 2020: Funding for Education and Research Opens to Partners Worldwide
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Hybrid Orientation Model for International Students
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	India's Evolving Education System: Implications for Recruitment and Admission to U.S. Institutions
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Key U.S. Institutional Competencies Required for Successful U.S.-Brazilian Research Collaborations
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Next Stage of Internationalization in Japanese Universities: Lessons Learned from G30 Project
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Outcomes Assessment: U.S. and International Perspectives
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Policymaking in International Education: The View from Washington
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	U.S. Exchange Visitor Program Update: Hot Topics for J-1 Program Sponsors
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	U.S. Regulations on Travel to Cuba and Recent Education Abroad Program Experiences
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	When I First Entered the Field I Had a Lot of Questions—Now I Have Many of the Answers...What's Next?
1:15 p.m. - 2:15 p.m.	Sessions	Writing a Winning Proposal for the 2015 NAFSA Annual Conference & Expo
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Open Meetings	Diversity Forum
2:00 p.m. - 2:45 p.m.	Open Meetings	Certificate? Master's? Doctorate? What Degree(s) Do You Need to be a Successful International Education Professional?

2:00 p.m. - 3:30 p.m.	Poster Fairs	International Education Research Internationalizing the Curriculum and Campus
2:15 p.m. - 2:45 p.m.		Refreshment Break
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Member Interest Groups	Canada
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Member Interest Groups	China
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Member Interest Groups	Global Nomads
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Member Interest Groups	Historically Black Colleges and Universities
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Member Interest Groups	International Education for Persons with Disabilities
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Member Interest Groups	Japan
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Member Interest Groups	Rainbow
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Member Interest Groups	Technology
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Member Interest Groups	United Nations
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Open Meetings	Advanced Credential Evaluation Dialogue
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Open Meetings	Dialogue with Fulbright Foreign Scholarship Board Chair
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Open Meetings	Latin American Internationalization Leaders
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Open Meetings	Open Dialogue on Education Abroad Professionals at Two-Year Institutions/Community Colleges
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Open Meetings	U.S. Regulatory Roundtable Discussion: Exchange Visitor Program
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Global Partner Sessions	The Components of Internationalization in a Comprehensive Public Institution
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Guest Speaker: Narciso Matos Key Developments, Challenges, and Opportunities in African Higher Education
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Best Practices to Prepare Your International Students Against Scams and Fraud

2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Creative Resourcing for Internationalization
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Cross-Cultural Understanding: The DNA of Peacebuilding
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Effective Models for Impactful International Service-Learning
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Enhancing the Student Mobility Experience Through Learning-Centered Partnerships
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	H-1B and Employment-Based Hot Topics
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	International Student Mental Health and Wellness Support in the Context of Advising
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Learning Outcomes and Frameworks in International Education
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Living Undocumented: High School, College, and Beyond
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Managing the Small Study Abroad Office: Year One
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Pens, Posters, and Banners: What Do You Mean That's Not a Marketing Plan?
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	The Recruitment-Retention Connection
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Storytelling and Study Abroad: Enhancing the Returnee Experience
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Tips on Navigating and Networking in the Field of International Education
2:45 p.m. - 3:45 p.m.	Sessions	Utilizing Google Analytics for International Enrollment Management
3:00 p.m. - 3:45 p.m.	Open Meetings	Strategic Thinking: A Panel Discussion Regarding the ISSS Career Track
4:00 p.m. - 5:30 p.m.	Plenary sessions	Plenary Address: José Manuel Ramos-Horta
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Meeting for Participants Based Outside the United States
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region I (AK, BC, ID, OR, WA) Update Meeting
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region II (AZ, CO, KS, MT, NE, NM, UT, WY) Update Meeting
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region III (AR, LA, OK, TX) Update Meeting
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region IV (IA, MN, MO, ND, SD) Update Meeting
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region V (IL, MI, WI) Update Meeting
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region VI (IN, KY, OH) Update Meeting
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region VII (AL, FL, GA, MS, NC, PR, SC, TN, VI) Update Meeting
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region VIII (DC, DE, MD, PA, VA, WV) Update Meeting

5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region X (NJ, NY) Update Meeting
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region XI (CT, MA, ME, NH, RI, VT) Update Meeting
5:30 p.m. - 6:30 p.m.	Open Meetings	Region XII (CA, HI, NV) Update Meeting
7:00 p.m. - 8:30 p.m.	Open Meetings	NAFSA Movie Night: After the Tsunami

Thursday, May 29, 2014

Time	Type	Event
7:00 a.m. - 5:30 p.m.		Conference Registration
7:00 a.m. - 6:00 p.m.		Knowledge Community Networking Centers
7:30 a.m. - 12:00 p.m.	Special Events	Colloquium on Internationalizing Teacher Education (Day 2)
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Open Meetings	Community College Forum
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Open Meetings	Dialogue on Agency Recruitment
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Open Meetings	Dialogue on Working Effectively With Your Student Conduct or Dean of Students Office
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Open Meetings	Internationalization of Business Education Discussion Forum
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Open Meetings	Open Dialogue on Successful Assessment Strategies for Education Abroad
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Open Meetings	Senior International Officers from Research Intensive Institutions
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Global Partner Sessions	The International Start-Up: First Steps to Take in China
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	100,000 Strong in the Americas: Increasing Academic Mobility in the Americas
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Advanced H-1B Topics
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Articulating Students' Intercultural Skills to Employers
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Best Practices for Developing and Supporting Faculty-Directed Programs
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Building Global Competencies in Peace, Justice, and Social Responsibility on Campus
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	The Clery Act and Education Abroad: Understanding Crime Reporting Requirements
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Country Context Counts: Partnerships in the Broader Higher Education Landscape
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Creating Seamless Campus Support Networks for International LGBTQ Students

8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	EducationUSA Tools and Resources for International Recruitment
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Harmonizing Advising Efforts to Support International Students in Their Job Search
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Lift as We Climb: African- Americans in International Education
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Major Factors Impacting Academic Success and Social Adjustment of International Students
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Meeting in the Middle: Ideas for Collaboration Between Newcomers to the Field and Hiring Managers
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Prospective International Student Engagement from Inquiry to Enrollment
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Solutions for Including Students with Disabilities in Education Abroad
8:00 a.m. - 10:00 a.m.	Seminar	Is Internationalization Morphing as its Drivers and Rationale Change?
8:30 a.m. - 5:30 p.m.		Expo Hall
8:30 a.m. - 5:00 p.m.		NAFSA Career Center
8:30 a.m. - 5:30 p.m.		NAFSA Bookstore
9:00 a.m. - 3:30 p.m.	Special Events	Colloquium on Internationalizing the STEM Fields
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Member Interest Groups	Africa
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Member Interest Groups	International Living Center
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Member Interest Groups	Latin America and the Caribbean
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Member Interest Groups	Liberal Arts Institutions: Small & Residential
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Member Interest Groups	One Person Office
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Member Interest Groups	Phase II
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Member Interest Groups	Postdoc
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	An Advanced Discussion About Research in the Field of International Education
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	Open Dialogue on Senior Strategists and Policymakers
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	Senior International Officers from Community Colleges

9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	Sponsored Program Administration Roundtable
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	U.S. Regulatory Roundtable Discussion: Employment-Based Scholar Advising
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Global Partner Sessions	Apply Best Practices with Agents to Increase International Enrollments
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Global Partner Sessions	CAE 101: Introducing Cambridge English Tests for International Admissions
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Global Partner Sessions	Culture of Care: Collaborative Approaches to Wellness in Study Abroad
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Guest Speaker: Jamil Salmi Higher Education Capacity Building in the Developing World: Lessons of Experience
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Guest Speaker: Lorelei Carbolante "Required Skill: Good Communicator" What Does it Really Mean in Today's Global Workplace?
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Advancing Comprehensive Internationalization Through Student Integration
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Applying Brain-Based Pedagogy to International Education
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Combining International and Multicultural Education: A New Approach to Inclusivity
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Creating International Internship Opportunities for Graduate and Professional Students
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Curricular Practical Training: From Integral to Indictable
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Diverse Approaches to Curriculum Integration of Education Abroad
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Economic Impact of International Students Around the World
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	In the Calm Before the Storm: Ensuring Institutional Compliance with U.S. Immigration Regulations
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	An Overview of Advocacy from Campus to Congress
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	The Power of Choice: Helping Students Make the Right Decisions
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Predicting Success: Contextualizing SAT Scores to Admit Nontraditional International Students
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Recruiting Qualified Undergraduate Students from China
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Senior International Officers as Operational Managers
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Strategic Management of Education Abroad Scholarship Funding
10:00 a.m. - 10:45 a.m.	Open Meetings	Getting Hired: Career Services for International Educators

10:00 a.m. - 12:00 p.m.	Poster Fairs	Connections Between Peace and Justice, Social Responsibility, and International Education Country Fair: Updates on Country and Regional Higher Education
10:30 a.m. - 11:00 a.m.		Coffee Break
10:30 a.m. - 2:00 p.m.		Dedicated Expo Hall Time
11:00 a.m. - 11:45 a.m.	Open Meetings	Beyond the Resume: Enhancing Career Development with Social Media
11:00 a.m. - 12:00 p.m.	Open Meetings	Open Dialogue on Underrepresentation in Education Abroad
11:30 a.m. - 1:30 p.m.		Express Lunch
12:00 p.m. - 12:45 p.m.	Open Meetings	Breaking into the Field of Education Abroad
12:00 p.m. - 1:30 p.m.	Special Events	Community Colleges Luncheon
12:00 p.m. - 1:30 p.m.	Special Events	Liberal Arts and Women's Colleges Luncheon
2:00 p.m. - 2:45 p.m.	Open Meetings	Road Warriors: Travel Like You Own the Skies
2:00 p.m. - 3:00 p.m.	Member Interest Groups	Returned Peace Corps Volunteer
2:00 p.m. - 3:00 p.m.	Member Interest Groups	Women's College and University
2:00 p.m. - 3:00 p.m.	Open Meetings	African Internationalization Leaders
2:00 p.m. - 3:00 p.m.	Open Meetings	Credential Doctor Clinic II
2:00 p.m. - 3:00 p.m.	Open Meetings	Faculty Roundtable
2:00 p.m. - 3:00 p.m.	Open Meetings	Open Dialogue on Nonimmigrant-Related Travel Issues
2:00 p.m. - 3:00 p.m.	Open Meetings	Open Dialogue on Work, Internship and Volunteering Abroad
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Global Partner Sessions	Understanding and Capitalizing on Student Trends Through Market Research
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Guest Speaker: Ruben Navarrette, Jr. Bringing Honesty - and Restoring Sanity - to the Immigration Debate
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Education Abroad Visa Updates: Critical Considerations for Students Studying Abroad
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Enhancing Community College Global Learning and Competencies Through Education Abroad
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Formulating and Measuring Learning Outcomes of Internationalization: A Dutch Approach
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Got Data? Now What? The Journey of Data Visualization

2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	International Student Mobility from India and Malaysia to the U.S.
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Internationalization in the Asia-Pacific Region
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Intersecting Pathways: Global Diversity and Inclusion
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Is Your Campus Truly International Student-Friendly?
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Journey to Becoming a Senior International Officer: Challenges, Obstacles, and the Future
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Measuring the Return on Investment of International Education Fairs
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Recruitment and Retention Strategies for Iraqi Scholarship Students
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Simon Award: Successful Internationalization Strategies
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Strategic Partnerships Between Higher Education Institutions
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Supporting Students' Emotional Well-Being While Studying Abroad
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	Understanding Accreditation and its Contribution to Standards in International Programs
2:00 p.m. - 3:15 p.m.	Sessions	U.S. Citizenship and Immigration Services (USCIS) Hot Topics
2:00 p.m. - 3:30 p.m.	Poster Fairs	Increasing Diversity Outreach and Support in International Education Intercultural Initiatives for Campus and Community Supporting Outreach and Engagement With Alumni
2:15 p.m. - 2:45 p.m.		Refreshment Break
3:00 p.m. - 3:45 p.m.	Open Meetings	Transitioning to Retirement: An Open Conversation
4:00 p.m. - 5:30 p.m.	Plenary sessions	Plenary Address: Kakenya Ntaiya
7:00 p.m. - 8:30 p.m.	Open Meetings	NAFSA Movie Night: The Dialogue

Friday, May 30, 2014

Time	Type	Event
7:00 a.m. - 3:00 p.m.		Knowledge Community Networking Centers
7:30 a.m. - 12:00 p.m.		Conference Registration
8:00 a.m. - 12:00 p.m.		NAFSA Bookstore

8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Open Meetings	Networking Beyond NAFSA: Accessing Resources from Other Professional Associations
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	A Comparison of the U.S. and Bologna Bachelor's Degrees
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Developing an In-House Instrument to Assess Learning Outcomes of International Education
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Experiences of International Education Administrators Leading Programs Abroad
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Exploring Academic Challenges: The International Student Point of View
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Hot Immigration Issues for Academic Healthcare Institutions
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Integrating Career and Academic Advising to Create Globally Competent Leaders
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	International Higher Education and International Development: Bridging the Gap
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	The Road Less Travelled: Travel Issues for International Students, Scholars, and Permanent Residents
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Social Media Across Borders: International Student Recruitment, Advising, and Study Abroad
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Understanding Reciprocal Exchanges Across Nations and Institutions
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	University Agent Engagement: The Debate, The Decisions, The Conundrum
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	Using Intercultural Communication Tools to Better Understand Students from the Middle East
8:00 a.m. - 9:00 a.m.	Sessions	What is Taboo? The Terrain International Student Advisers Navigate
8:30 a.m. - 9:00 a.m.		Coffee Break
8:30 a.m. - 11:15 a.m.		Expo Hall
8:30 a.m. - 11:15 a.m.		NAFSA Career Center
8:30 a.m. - 2:45 p.m.	Special Events	Colloquium on Internationalizing General Education
9:00 a.m. - 10:30 a.m.	Technology Fairs	Unique Uses of Technology and Social Media in International Education
9:00 a.m. - 12:30 p.m.		Getting Hired: Career Services for International Educators
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	Collaborating with Campus or Faculty Advisory Groups
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	International Student Transfer Discussion
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	Internationalization of Teacher Education Discussion Forum
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Open Meetings	Senior International Officers from Liberal Arts Institutions

9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Global Partner Sessions	Fighting Back Against Fraud in the Academic Space
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Addressing Challenges in U.S.-Japan Student Mobility
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Building Campus Action Teams for International Student Success
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Collaboration in Education Abroad: National and Regional-Level Associations
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Finding the Right Fit: Community College Linkages in Brazil
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Gaining a Deeper Understanding of Chinese Culture in Higher Education
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Language Learning and Intercultural Skills Development
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Lessons Learned in Assessing Study Abroad
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Open to Inspection: Current U.S. Customs and Border Protection Practices
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Revamping, Reinventing, and Reinvigorating Online Orientations for International Students
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Strategies for Effectively Engaging International High School Counselors
9:30 a.m. - 10:30 a.m.	Sessions	Trends in U.S. Higher Education: Challenges and Innovations
9:30 a.m. - 11:30 a.m.	Sessions	Enhancing the Potential of Study Abroad Through New Service-Learning Models
10:30 a.m. - 11:00 a.m.	Open Meetings	Tweetup 2.0
11:00 a.m. - 12:00 p.m.	Open Meetings	A Dialogue of Digital Media Strategies for Working with International Students
11:00 a.m. - 12:00 p.m.	Open Meetings	Internationalization of Legal Education Discussion Forum
11:00 a.m. - 12:00 p.m.	Open Meetings	Networking Discussion: Share your Intercultural Toolkit
11:00 a.m. - 12:00 p.m.	Open Meetings	Road Warriors and Campus Liaisons
11:00 a.m. - 12:00 p.m.	Open Meetings	Strategic Partnerships and Internationalization Leaders
11:00 a.m. - 11:30 a.m.	Sessions	A Pathway to Global Competence Through Innovative Courses
11:45 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Assessing Graduate Students' Internationalization Experiences Using Aspects of Cultural Competence
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Guest Speaker: Jeffrey Wasserstrom Making Sense of a Fast-Changing China
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Advancing Global Competence Through Collaboration with Faculty
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Brazil's Scientific Mobility Program: Current Developments and Trends

11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Curriculum Internationalization Through Faculty Support
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Gaining an Edge with Education Abroad: The International Experience
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Hot Topics in SEVP and Visa Issuance for Intensive English Programs
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	How U.S. Health Care Reform Changes Health Insurance for the International Community
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Introduction to Leadership and Management for International Educators
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Lessons Learned About Restructuring Education Abroad Offices
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Maximizing Online Communication: Cultivating and Engaging International Student Social Connectedness
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Solutions for a Competitive World: Managing Strategic Risk in International Enrollment Management
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Strategies for Difficult Student Meetings for Education Abroad and International Student Advisers
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Supporting Sorority and Fraternity Members Who Study Abroad
11:00 a.m. - 12:15 p.m.	Sessions	Using Data to Advocate for Comprehensive Internationalization
12:00 p.m. - 1:30 p.m.	Special Events	Pathways to Peace Luncheon
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Sessions	Find the Best Fit Model for Your Intensive English Program
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Sessions	Higher Education in South Africa: 20 Years into Democracy
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Sessions	ISSS International Advisory Board Programs: A Tool for Empowerment
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Sessions	Ouch! My Immigration Status Hurts: Navigating Medical Reduced Courseload Requests
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Sessions	Preparing Teachers for Global Competency: Key Dimensions and Innovative Practices
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Sessions	The New Frontier in International Collaboration: Trilateral and Multilateral Partnerships
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Sessions	Recruitment to Retention: Sponsored Students from the Gulf Cooperation Council Countries
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Sessions	Short-Term Programs 101: Creating a System to Enhance Faculty Leadership
1:30 p.m. - 2:30 p.m.	Sessions	The University of Minnesota's Career Integration Initiative
3:00 p.m. - 4:15 p.m.	Plenary sessions	Plenary Address: Albie Sachs
4:15 p.m. - 5:30 p.m.	Special Events	Closing Celebration
6:30 p.m. - 8:30 p.m.	Special Events	Ron Moffatt Seminar on Peace and the Global Civic Society

Friday, May 30, 2014

Time	Type	Event
8:15 a.m. - 7:30 p.m.	Special Events	Ron Moffatt Seminar on Peace and the Global Civic Society

Friday, May 30, 2014

Time	Type	Event
8:15 a.m. - 12:00 p.m.	Special Events	Ron Moffatt Seminar on Peace and the Global Civic Society

